

4 地域づくりの方向性

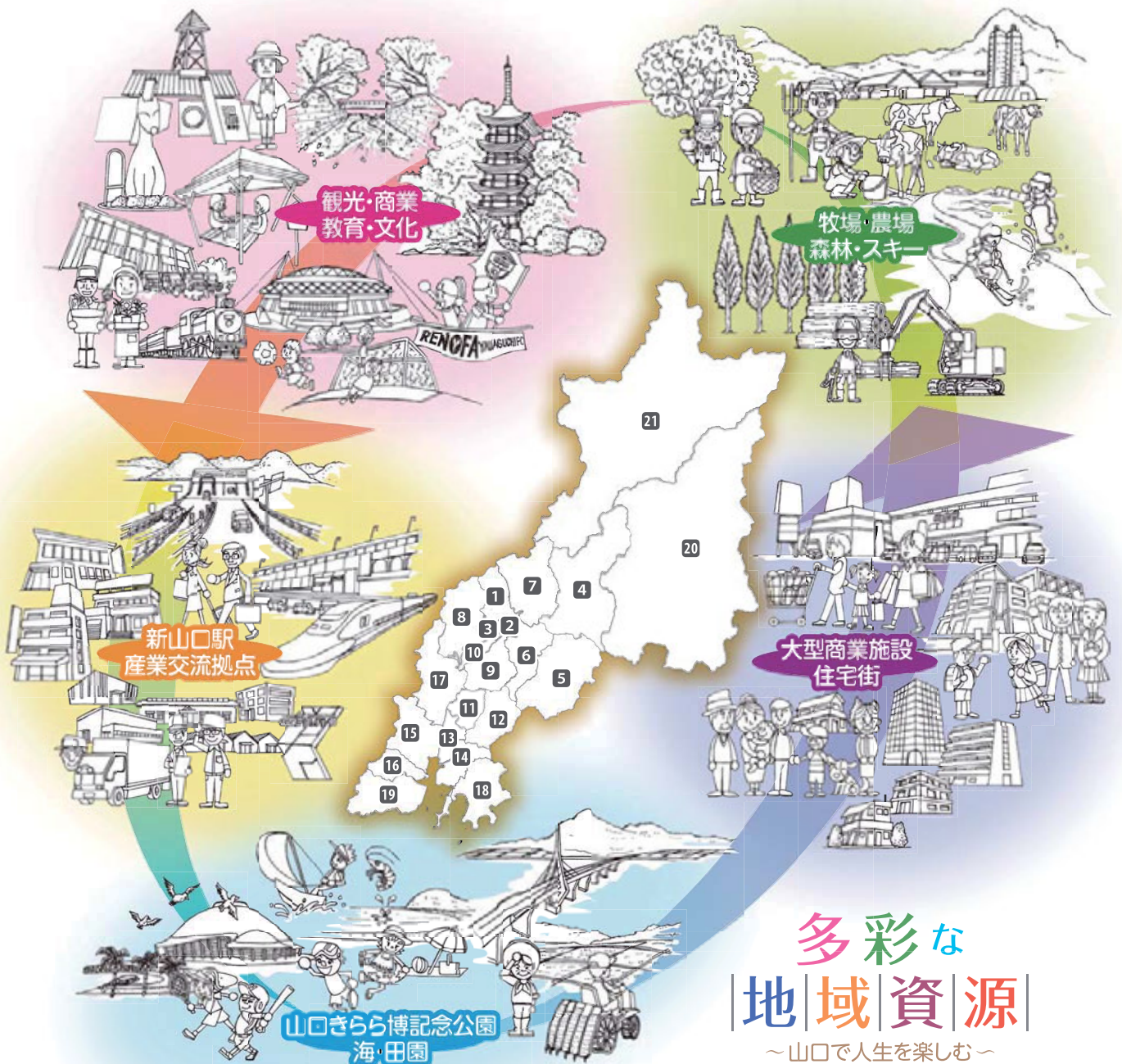
広大な市域を有する本市は、多様な特性を有する地域によって構成されています。また、自治会を中心として様々な団体が連携して、地域づくりに取り組む主体を「地域づくり協議会」として位置づけており、現在、市内21地域のすべてに地域づくり協議会が組織されています。さらに、21地域において、目指す将来地域像やそのための取組内容等、自主的で、主体的な地域づくりの活動の指針となる「地域づくり計画」が策定されています。

総合計画における本市の地域づくりの方向性については、地域の実情を踏まえ、地域特性を生かした、個性ある21の地域連合、個性あるエリアの形成を目指すこととし、各地域の「地域づくり計画」を総合計画における地域づくりの方向性として位置付けます。

Ⅲ

前期基本計画

4 地域づくりの方向性



多彩な
| 地域資源 |
～山口で人生を楽しむ～

各地域のキャッチフレーズ

- | | | |
|----|--------|---|
| 1 | 大殿地域 | ～心豊かに暮らし続けることができるまちづくり～ |
| 2 | 白石地域 | ～みんなで作る住みよいまち・白石～ |
| 3 | 湯田地域 | ～優しく、美しい、誰もが、安心するまちづくり～ |
| 4 | 仁保地域 | ～住み良さをみんなで創る仁保の郷～ |
| 5 | 小鯖地域 | ～自然豊かで 安心して暮らせる小鯖～ |
| 6 | 大内地域 | ～伸びゆく大内 人の輪 夢の輪 地域の輪～ |
| 7 | 宮野地域 | ～みんなに、やさしい、のびゆくまちづくり～ |
| 8 | 吉敷地域 | ～みんなで支え合う 笑顔あふれるふれあいのまち 吉敷～ |
| 9 | 平川地域 | ～平川の未来にかける“にじ”の橋～ |
| 10 | 大歳地域 | ～みんなで作ろう、明るく住みよいおとしを～ |
| 11 | 陶地域 | ～美しい心ふれ合う陶～ |
| 12 | 鑄銭司地域 | ～みんなで作ろう 明るい鑄銭司～ |
| 13 | 名田島地域 | ～伝えよう次世代へ、より良い名田島を～ <small>ふるさと</small> |
| 14 | 秋穂二島地域 | ～HOT 愛を二島～ |
| 15 | 嘉川地域 | ～人・まち・自然が輝き、安心・安全に暮らせ活力ある 「嘉川のまちづくり」の推進～ |
| 16 | 佐山地域 | ～わがまち佐山の暮らしを良くするために～ |
| 17 | 小郡地域 | ～「ふれあい」「生きがい」「支えあい」で心豊かに暮らせる地域づくり～ |
| 18 | 秋穂地域 | ～青い海 愛する秋穂 海老の町～ |
| 19 | 阿知須地域 | ～心豊かな元気で住みよい阿知須づくり～ |
| 20 | 徳地地域 | ～豊かなところ・明るいくらし・笑顔あふれるまち とくぢ～ |
| 21 | 阿東地域 | ～考えてみよういね、やってみよういね、美緑あるあとうまちづくり～ <small>みりよく</small> |



1

地 域 の 特 徴

地域の特色や課題

大殿地域は、山口市のほぼ中心に位置し、大内文化が花開いた地として、歴史と伝統を誇る地域であり、国宝「瑠璃光寺五重塔」をはじめ、大内氏時代から育まれた歴史資源や神社仏閣などの文化財が数多くあります。



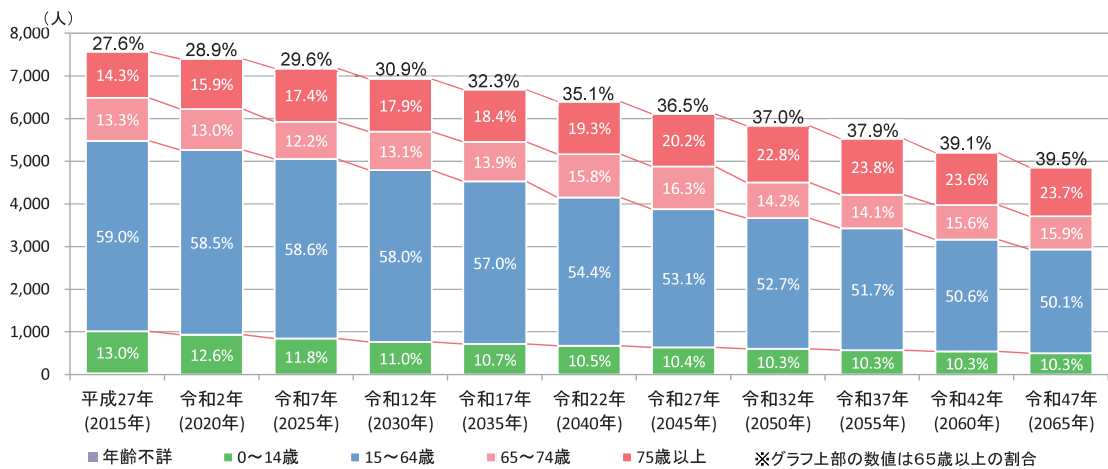
▲一の坂川

また、地域内を流れる一の坂川は、街中では珍しくホテルの乱舞を見ることができ、春の桜とあわせ、市民や観光客の目を楽しませてくれるなど、多くの資源に恵まれた地域です。

一方で、人口は減少傾向にあり、地域内の空き家対策などの課題があります。

地域の概要、データ

■将来人口推計と人口構成



| | 2015年 (H27) | 2020年 (R2) | 2025年 (R7) | 2030年 (R12) | 2035年 (R17) | 2040年 (R22) | 2045年 (R27) | 2050年 (R32) | 2055年 (R37) | 2060年 (R42) | 2065年 (R47) |
|--------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 総人口 | 7,566 | 7,400 | 7,172 | 6,930 | 6,680 | 6,401 | 6,112 | 5,832 | 5,528 | 5,197 | 4,855 |
| 65歳以上 | 2,086 | 2,136 | 2,123 | 2,143 | 2,159 | 2,249 | 2,231 | 2,160 | 2,097 | 2,033 | 1,920 |
| 75歳以上 | 1,081 | 1,175 | 1,248 | 1,237 | 1,228 | 1,236 | 1,233 | 1,332 | 1,318 | 1,225 | 1,150 |
| 65~74歳 | 1,005 | 961 | 875 | 906 | 930 | 1,013 | 998 | 828 | 780 | 808 | 770 |
| 15~64歳 | 4,467 | 4,331 | 4,203 | 4,021 | 3,810 | 3,481 | 3,245 | 3,071 | 2,860 | 2,628 | 2,435 |
| 0~14歳 | 983 | 933 | 846 | 765 | 712 | 672 | 636 | 601 | 570 | 536 | 500 |
| 年齢不詳 | 30 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

■世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 大殿 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 3,421世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 29 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／おおどのコミュニティ協議会

目指す地域の姿

地域が持つ歴史・文化・自然などの豊かな資源を生かし、安心して暮らすことができ、多くの人
が「住んでみたい、訪れたい、働くところのあるまち」を目指します。

これまでの主な取組

- 地域のつながり、地域の誇り、地域への愛着を育むことを目的に、町内会をはじめ、地域の大勢のボランティアの協力により、地域の伝統や文化の保存継承事業に取り組んでいます。
- 他地区との交流会や庭木管理の学習会、歴史やものづくり講座などを通じて地域の良さや魅力を再発見するとともに、様々な機会を通して地域の皆さんのつながりを広げています。
- 各町内会が協力し、地区全体での見守り活動、暮らしの安全・安心につながる情報をまとめた「大殿サポート3(さん)ちよきマップ」を作成し、活用しています。



▲つながる大殿七タちよちんの灯

今後の取組の方向性

- 安心して暮らせるまちづくり
交通マナーや防災に対する意識を高め、安心・安全な生活や環境づくりに努めます。
- 安らぎのあるずっと住み続けたいまちづくり
住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、地域福祉等に関する諸活動に取り組みます。
- 風格と賑わいのあるまちづくり
美しい景観や歴史的な町並みを大切にし、地域の伝統文化を次世代にしっかりと継承していきます。また、地域資源を生かし、地域の魅力を高める大殿らしい取り組みを進めます。
- みんなでつながる楽しいまちづくり
若者と高齢者の世代間交流の場や地域づくり活動による人材育成、地域情報の発信強化など、交流を促す様々な取組を推進します。また、地域活動に誰もが参加できるような仕組みをつくります。



▲大殿サポートちよきマップ

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 施策1-3 高齢者福祉の充実 | 施策3-1 防災対策の充実 |
| 施策1-5 地域福祉の充実 | 施策3-3 交通安全の推進と防犯体制の充実 |
| 施策2-3 文化、芸術、歴史の継承と創造 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |



1

地域の特徴

地域の特徴や課題

白石地域は、地域内に明治維新関係の史跡が点在するなど、古き時代から常に山口市の中心地であったことがうかがえます。

また、旧山口市時代から、市の中心部としての位置づけがあったことから、社会インフラ整備が充実しています。さらに、多くの学校が存在し、県立図書館・美術館などもあることから、「文教地区」としての特性を持っています。

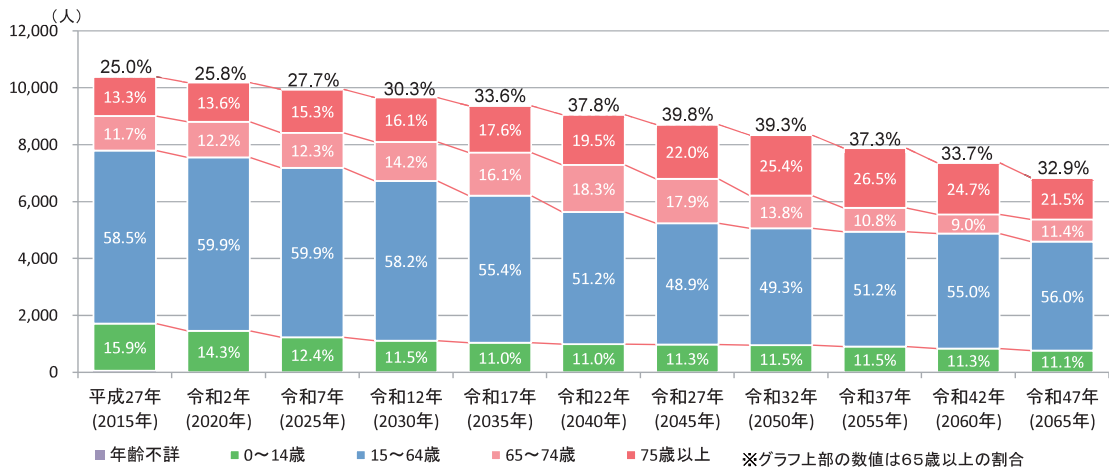
一方では、マンションなどの集合住宅が多く、新たに地域に転入した住民の割合が非常に高いことから、住民同士のコミュニケーションが希薄で、地域に対する関心が不足し、地域活動への参加が少なくなることが懸念されます。



▲象頭山から白石を望む

地域の概要、データ

将来人口推計と人口構成



| | 2015年(H27) | 2020年(R2) | 2025年(R7) | 2030年(R12) | 2035年(R17) | 2040年(R22) | 2045年(R27) | 2050年(R32) | 2055年(R37) | 2060年(R42) | 2065年(R47) |
|--------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総人口 | 10,390 | 10,180 | 9,939 | 9,657 | 9,366 | 9,059 | 8,712 | 8,334 | 7,875 | 7,364 | 6,840 |
| 65歳以上 | 2,598 | 2,626 | 2,749 | 2,924 | 3,149 | 3,425 | 3,469 | 3,273 | 2,939 | 2,484 | 2,247 |
| 75歳以上 | 1,384 | 1,382 | 1,522 | 1,555 | 1,646 | 1,768 | 1,912 | 2,120 | 2,090 | 1,819 | 1,471 |
| 65~74歳 | 1,214 | 1,244 | 1,227 | 1,370 | 1,504 | 1,657 | 1,556 | 1,154 | 848 | 665 | 777 |
| 15~64歳 | 6,078 | 6,095 | 5,955 | 5,624 | 5,185 | 4,640 | 4,261 | 4,106 | 4,028 | 4,048 | 3,831 |
| 0~14歳 | 1,656 | 1,460 | 1,235 | 1,109 | 1,032 | 994 | 982 | 955 | 908 | 832 | 761 |
| 年齢不詳 | 58 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 白石 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 4,523世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 39 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／白石地区地域づくり協議会

目指す地域の姿

みんなでつくる住みよいまち・白石 ～住みよさナンバーワンの地域を目指して～

これまでの主な取組

- 子どもからお年寄りまで家族ぐるみで地域の祭りに参加していただき、地域住民同士のつながりを深めることを目的に、地域内で実施される「ほたるまつり」「祇園祭」「山口七夕ちょうちんまつり」に参加しています。
- 日常的に運動に親しむ地域住民を増加させ、心身ともに健康な地域づくりを推進するために、参加者に対して活動量計を貸出し、運動に関するプログラムを提供する「白石チャレンジ健康づくり事業」等を実施しています。



▲祇園祭

今後の取組の方向性

- 「住みよいまち・しらいし」をつくるために…
- 広報活動の充実により、白石地区地域づくり協議会の取組等、認知度の向上を図り、地域づくり活動に参加する地域住民の増加を目指します。
 - 観光資源等地域財産の活用やお祭りなどの伝統文化活動を通じて、地域住民の交流を図り、白石地域への関心や、地域住民同士の連帯感・絆を深めていきます。
 - スポーツイベントや講習会、健康講座等を開催し、地域住民が日常的に運動に親しむとともに、健康と食に関する意識を高めていきます。
 - 山口市の中心地としてふさわしい環境や景観を保全するために、地域内の関係団体が連携して、五十鈴川の清掃等、環境美化活動や景観保護活動を積極的に推進します。
 - 地域住民一人ひとりが防災意識を高め、身近に防災活動に参加できるような人づくり、組織づくり（自主防災組織）を推進するとともに、地域住民が交通安全活動、防犯活動に積極的に参加する仕組みを整える等、安心安全な地域社会を目指します。
 - 地域住民の白石への誇りや郷土愛を育むため、白石地域固有の歴史や文化、史跡名所を地域住民が共有し、保護・保全・継承・掘り起こし、PR活動を実施します。



▲白石チャレンジ健康づくり事業

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 施策1-2 健康づくりの推進と地域医療の充実 | 施策3-1 防災対策の充実 |
| 施策1-5 地域福祉の充実 | 施策4-1 豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり |
| 施策2-2 生涯学習・社会教育の推進 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |





1

地域の特色

地域の特色や課題

温泉街と住宅地、商業施設や保養所、医療機関等がコンパクトにまとまっている湯田地域は、山口市のほぼ中央部に位置しています。日量2000トンの豊富な湯量を誇る湯田温泉は、その豊かな効能から、古来より多くの人々に親しまれてきました。幕末に活躍した高杉晋作や坂本龍馬、西郷隆盛などの維新の志士たちも湯田温泉を訪れていることから維新関連の史跡が多数残されています。

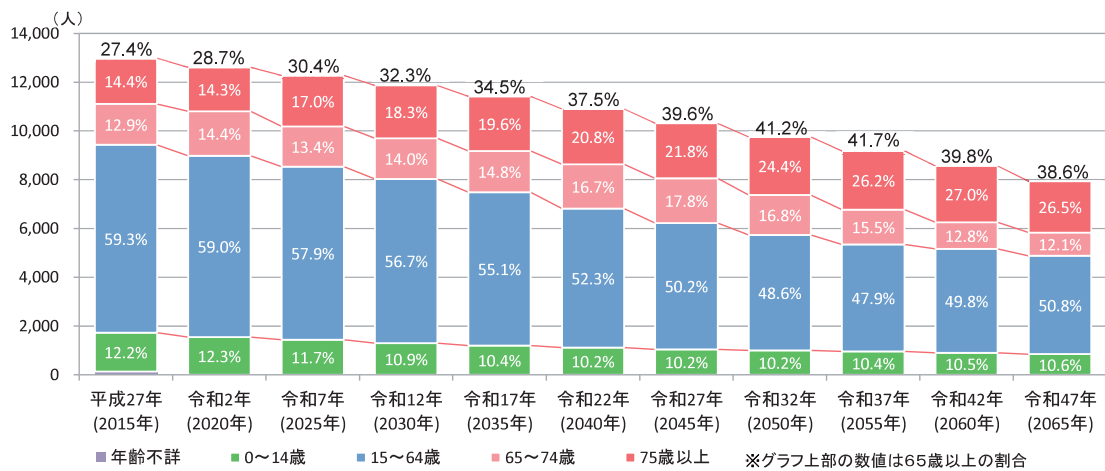


▲湯田温泉のマスコット湯田ゆう子さん

湯田地区は集合住宅の増加により、人口の集積はあるものの、転出入も多いことから地域活動への関わりが薄れてきていることが課題となっています。

地域の概要、データ

■将来人口推計と人口構成



| | 2015年(H27) | 2020年(R2) | 2025年(R7) | 2030年(R12) | 2035年(R17) | 2040年(R22) | 2045年(R27) | 2050年(R32) | 2055年(R37) | 2060年(R42) | 2065年(R47) |
|------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 総人口 | 12,981 | 12,611 | 12,272 | 11,874 | 11,422 | 10,897 | 10,308 | 9,755 | 9,174 | 8,563 | 7,933 |
| 65歳以上 | 3,553 | 3,622 | 3,736 | 3,840 | 3,938 | 4,086 | 4,081 | 4,021 | 3,826 | 3,404 | 3,059 |
| 75歳以上 | 1,873 | 1,806 | 2,090 | 2,177 | 2,243 | 2,270 | 2,251 | 2,379 | 2,403 | 2,310 | 2,100 |
| 65~74歳 | 1,680 | 1,816 | 1,646 | 1,664 | 1,695 | 1,816 | 1,831 | 1,642 | 1,424 | 1,094 | 959 |
| 15~64歳 | 7,701 | 7,440 | 7,101 | 6,734 | 6,291 | 5,702 | 5,179 | 4,738 | 4,394 | 4,261 | 4,033 |
| 0~14歳 | 1,590 | 1,549 | 1,436 | 1,300 | 1,192 | 1,110 | 1,047 | 996 | 953 | 897 | 841 |
| 年齢不詳 | 137 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

■世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 湯田 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 6,020世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 15 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／湯田地区コミュニティ運営協議会

目指す地域の姿

人と人との暖かい関わりの中で、誰もが、いつまでも安心して暮らすことができる地域を目指します。

これまでの主な取組

- 地域住民同士の交流や親睦を目的とし、町内会やコミュニティ運営協議会の加盟団体を中心に、「町内親睦大運動会」や「湯田ふるさとまつり」を開催しています。
- 「ふれあい安心・安全フェスタ」では、体験型のイベントを通じて、地域住民の防災・防犯意識の高揚を図っています。
- 明治維新150年に向け、史跡ウォーキングやバスハイク、歴史講演会、史跡めぐり湯田マップの作成などに取り組みました。



▲ふるさとまつり 湯田中合唱部

今後の取組の方向性

平成28年度から「第2次湯田地区地域づくり計画」に基づき、「優しく、美しい、誰もが、安心するまちづくり」の実現に向けて取組が始まりました。

- 地域福祉
子どもからお年寄りまで安心して暮らせるよう、子ども福祉事業、高齢者福祉事業を推進します。
- 安心安全
火災から地域住民の命を守るため、住宅用火災警報器の設置促進に取り組みます。また、町内会連合会を中心に湯田地域全体の自主防災組織が発足したことから、避難訓練や防災研修を通じて、地域全体の防災力の強化を図ります。



▲安心・安全フェスタ 放水体験

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 施策1-3 高齢者福祉の充実 | 施策2-3 文化、芸術、歴史の継承と創造 |
| 施策1-5 地域福祉の充実 | 施策3-1 防災対策の充実 |
| 施策2-2 生涯学習・社会教育の推進 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |



1

地域の特色

地域の特色や課題

仁保地域は、山口市北部に位置する中山間地域で、面積72km²の80%は山林です。過疎への危機感から、昭和40年代に仁保地域開発協議会(現在の仁保自治会)が設立され、様々な地域づくりに取り組んできました。農業集落排水事業による下水道整備が完了しており、また、農産物の直売も行う道の駅「仁保の郷」は仁保自治会が管理・運営を行っています。

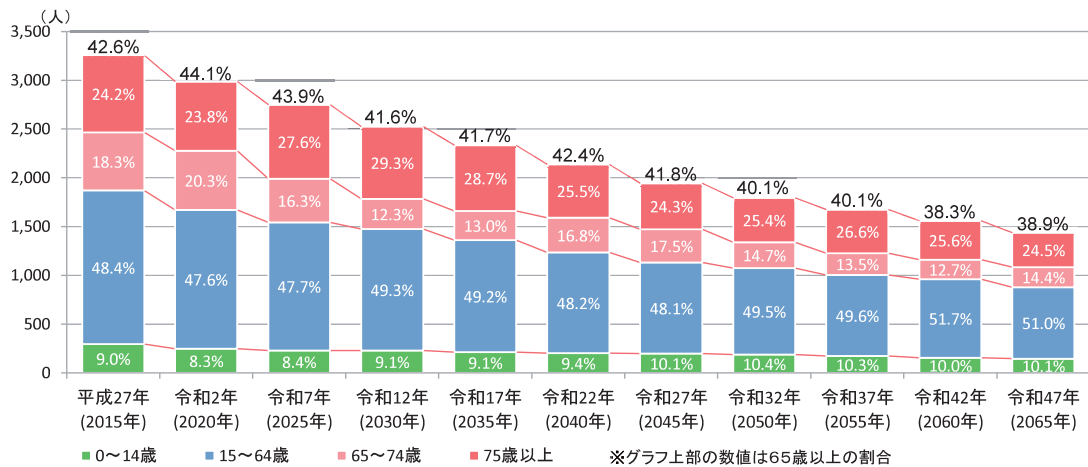


▲仁保川のこいのぼり

平成26年度に行った住民アンケートによると、「いま住んでいる地域が好きだ」「今後も住み続けたい」との回答が8割を占める一方で、少子高齢化や人口減少に伴う様々な問題に不安を感じる意見も多くありました。そのほか、農業の面では有害鳥獣による農作物の被害が拡大しており、その対策が喫緊の課題となっています。

地域の概要、データ

■将来人口推計と人口構成



| | 2015年(H27) | 2020年(R2) | 2025年(R7) | 2030年(R12) | 2035年(R17) | 2040年(R22) | 2045年(R27) | 2050年(R32) | 2055年(R37) | 2060年(R42) | 2065年(R47) |
|--------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総人口 | 3,256 | 2,988 | 2,749 | 2,525 | 2,332 | 2,138 | 1,944 | 1,794 | 1,674 | 1,559 | 1,437 |
| 65歳以上 | 1,386 | 1,318 | 1,207 | 1,051 | 972 | 905 | 812 | 720 | 671 | 597 | 558 |
| 75歳以上 | 789 | 711 | 758 | 740 | 670 | 546 | 472 | 456 | 445 | 399 | 352 |
| 65~74歳 | 597 | 607 | 449 | 311 | 302 | 360 | 340 | 263 | 226 | 198 | 206 |
| 15~64歳 | 1,576 | 1,422 | 1,312 | 1,244 | 1,148 | 1,031 | 936 | 888 | 830 | 806 | 733 |
| 0~14歳 | 294 | 248 | 230 | 230 | 212 | 202 | 196 | 186 | 173 | 157 | 146 |
| 年齢不詳 | | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

■世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 仁保 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 1,129世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 23 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／仁保自治会

目指す地域の姿

「住み良さを みんなで創る 仁保の郷」を目標に、子どもから高齢者まで、すべての世代が住み良いと思える地域づくりを進めます。

これまでの主な取組

- 年々増加する空き家への対策と地域の定住促進を進めるため、山口市空き家バンク制度を活用した人口定住に取り組んでいます。また、空き家についての相談窓口を設け、空き家の掘り起こしや地域への周知を図っています。
- 安全に暮らせる地域づくりを推進するため、防犯灯の設置に取り組み、子どもたちの通学環境などを改善しました。
- 仁保川の洪水防止と環境美化を推進するため、河川内の除草作業への支援や、河川の浚渫の要望活動を行っています。



▲仁保大農業まつり

今後の取組の方向性

- 道の駅を核とした情報発信の充実や空家バンク制度を利用した人口定住促進等により、地域の活性化を目指します。
- 高齢者や子育て世代のサポート体制を充実し、住民が健康で心豊かに暮らせる地域を目指します。
- 交通安全環境の整備や防災意識の啓発、防災組織の体制充実等により、住民が安心して生活できる地域を目指します。
- 住みやすい生活環境が整備され、また四季を通して美しい自然環境が保たれた地域を目指します。
- 帰郷庵等を活用した里山体験イベントにより地域個性を創出するとともに、行事の充実等により住民相互の絆が深まる地域を目指します。



▲帰郷庵のアユつかみイベント

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 施策1-3 高齢者福祉の充実 | 施策3-3 交通安全の推進と防犯体制の充実 |
| 施策1-5 地域福祉の充実 | 施策4-1 豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり |
| 施策3-1 防災対策の充実 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |



1

地域の特色

地域の特色や課題

小鯖地域は、防府市との市境に位置し、市内21地域のうち4番目に大きな面積を有しています。工業・流通業が集積している中国自動車道の山口IC周辺、宅地化が進む国道262号線沿い、豊かな田園風景が広がる県道21号線沿い、標高の高い農村地域である東鯖地区で構成されています。正田山、鳴滝、萩往還などに代表される名所・旧跡が点在し、小鯖八幡宮の代神楽舞などの伝統文化が残っています。自然豊かな環境にある一方で、土砂災害の起こりやすい地形・地質にあり、平成21年に中国九州北部豪雨災害の災禍に見舞われた経験から、防災意識の高い地域がらです。

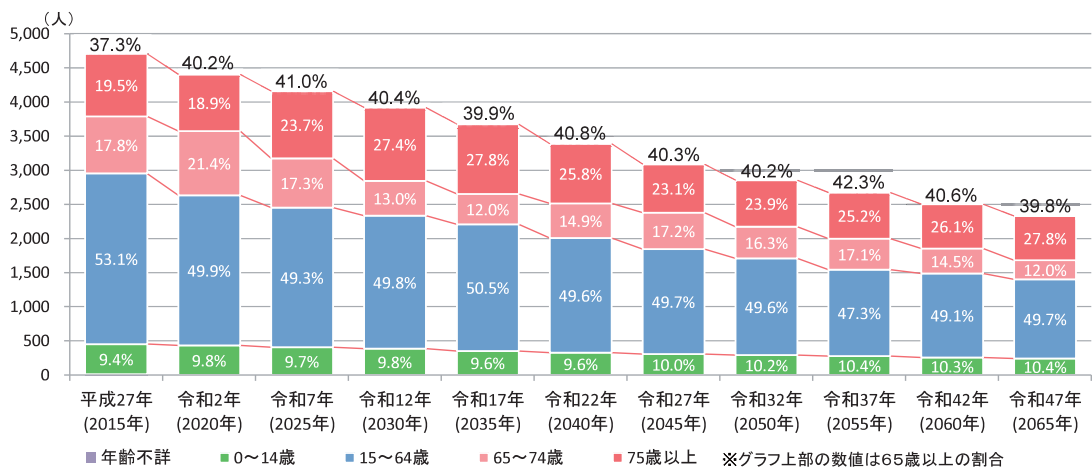


▲鳴滝の風景

人口は、近年の少子高齢化や他地域への流出により減少傾向にあり、JAの店舗や金融窓口の閉鎖など、日常生活に密接する店舗が少ない状況にあります。通院、買い物等の日常生活の利便性を確保する上で、コミュニティ交通等の維持・存続も課題となっています。

地域の概要、データ

将来人口推計と人口構成



| | 2015年(H27) | 2020年(R2) | 2025年(R7) | 2030年(R12) | 2035年(R17) | 2040年(R22) | 2045年(R27) | 2050年(R32) | 2055年(R37) | 2060年(R42) | 2065年(R47) |
|--------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総人口 | 4,706 | 4,404 | 4,159 | 3,918 | 3,674 | 3,391 | 3,089 | 2,853 | 2,671 | 2,505 | 2,329 |
| 65歳以上 | 1,754 | 1,772 | 1,704 | 1,583 | 1,464 | 1,383 | 1,245 | 1,147 | 1,130 | 1,017 | 928 |
| 75歳以上 | 918 | 831 | 987 | 1,074 | 1,022 | 876 | 713 | 682 | 672 | 654 | 648 |
| 65~74歳 | 836 | 941 | 717 | 509 | 442 | 507 | 532 | 465 | 458 | 363 | 280 |
| 15~64歳 | 2,498 | 2,199 | 2,050 | 1,949 | 1,855 | 1,681 | 1,536 | 1,416 | 1,264 | 1,230 | 1,159 |
| 0~14歳 | 441 | 433 | 405 | 386 | 354 | 326 | 308 | 291 | 277 | 259 | 243 |
| 年齢不詳 | 13 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 小鯖 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 1,746世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 23 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／小鯖地域づくり協議会

目指す地域の姿

地域住民及び各種団体が連携・協力して、豊かで住みよい安全な地域づくりを進めます。

これまでの主な取組

- 地域活性化のため、住民同士の絆や地域に対する愛着を深め、多世代が交流・参加できるイベント事業の実施や地域ぐるみの環境美化活動に取り組んでいます。
- 小鯖自主防災会を発足し、防災学習や防災訓練に取り組んでいます。
- 小鯖の魅力を発信するご当地ゆるキャラ「さばろっち」の活用を通じて、多様な世代が地域づくりに参画できるきっかけづくりに取り組んでいます。



▲正田山貯水タンク

今後の取組の方向性

- 子育て環境づくり、健康づくり、生きがいづくり、見守り活動に取り組むとともに、自主防災組織を主体とした防災活動の充実を図っていきます。
- 鳴滝、正田山、萩往還等の名所・旧跡や小鯖八幡宮の代神楽舞など、長い年月の間に育まれてきた地域の魅力や財産を活かし、地域の魅力向上につながる環境整備に取り組めます。
- 「さばろっち未来カフェ」等の機会を通じ、地域の課題を共有するとともに、地域づくりに多様な年代が関わる仕組みを構築し、地域の実情に応じたより効果的な運営を目指していきます。
- 交通の利便性と豊かな農村環境という地域の強みを生かし、地域の遊休施設や空き家の有効活用に向けた検討・整備を行い、新たな地域の価値を生み出す取組を促進することで、人・モノ・価値・想いが往来する交流促進を図り、自立的な地域経営につなげていきます。



▲さばろっちの活用

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 施策1-3 高齢者福祉の充実 | 施策3-1 防災対策の充実 |
| 施策1-5 地域福祉の充実 | 施策4-1 豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり |
| 施策2-2 生涯学習・社会教育の推進 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |



1

地域の特色

地域の特色や課題

大内地域は、本市のまちづくりの起源ともいえる中世「大内文化(大内氏)発祥の地」で、近世「萩往還」等多くの歴史遺産が残っています。

また、市の中心部に近く、自然環境に恵まれ、医療機関・郊外大型店舗等が充足し、生活の利便性に優れていることから宅地の開発が進んでおり、市内第2位の人口を擁する活気あふれる地域です。

地域コミュニティ活動についても、様々な団体や個人が積極的に取り組んでおり、中でも次代を担う子ども達への温かい支援活動は、非常に盛んで特筆すべき活動です。

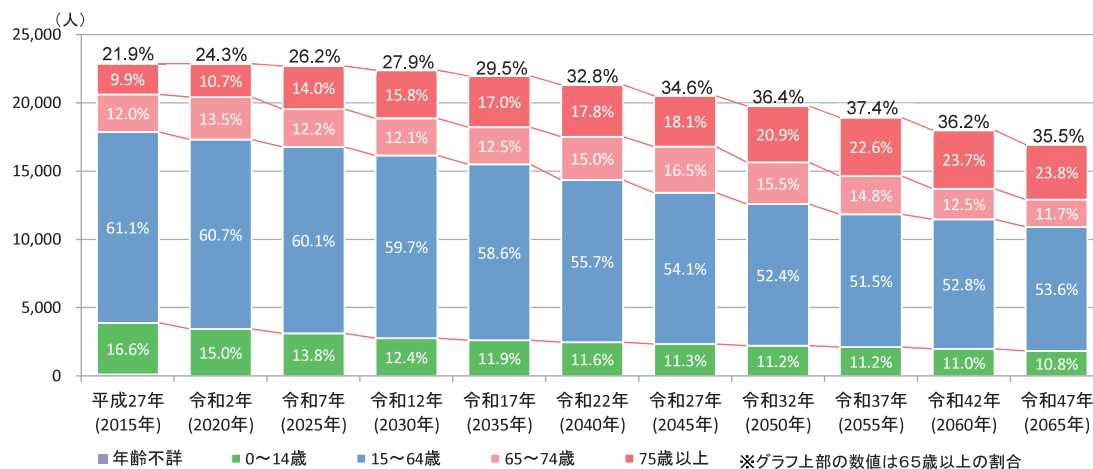
一方では、道路、公共下水道、防災対策、公共交通等の公共インフラ整備が、地域の成長過程に追いついておらず、改善が望まれています。



▲大内地域を遠望する

地域の概要、データ

■将来人口推計と人口構成



| | 2015年(H27) | 2020年(R2) | 2025年(R7) | 2030年(R12) | 2035年(R17) | 2040年(R22) | 2045年(R27) | 2050年(R32) | 2055年(R37) | 2060年(R42) | 2065年(R47) |
|--------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総人口 | 22,878 | 22,859 | 22,699 | 22,399 | 21,961 | 21,312 | 20,521 | 19,769 | 18,924 | 17,987 | 16,942 |
| 65歳以上 | 5,000 | 5,549 | 5,937 | 6,247 | 6,477 | 6,981 | 7,098 | 7,190 | 7,075 | 6,515 | 6,021 |
| 75歳以上 | 2,255 | 2,454 | 3,168 | 3,544 | 3,738 | 3,787 | 3,720 | 4,132 | 4,274 | 4,269 | 4,033 |
| 65~74歳 | 2,745 | 3,096 | 2,768 | 2,704 | 2,739 | 3,194 | 3,378 | 3,057 | 2,801 | 2,246 | 1,988 |
| 15~64歳 | 13,980 | 13,870 | 13,639 | 13,379 | 12,873 | 11,863 | 11,095 | 10,366 | 9,738 | 9,489 | 9,083 |
| 0~14歳 | 3,787 | 3,440 | 3,124 | 2,772 | 2,611 | 2,468 | 2,329 | 2,214 | 2,111 | 1,984 | 1,837 |
| 年齢不詳 | 111 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

■世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 大内 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 9,128世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 31 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／大内まちづくり協議会

目指す地域の姿

- ①交流が活発で人が生き生きと活躍する地域
- ②学びの機会に満ちた伝統と文化の継承される地域
- ③健康で幸福を感じながら生活できる地域
- ④自然と緑あふれる快適に暮らせる地域
- ⑤安心安全に暮らせる地域



▲大内コードモジカン事業

これまでの主な取組

- 夏休み等の長期休業日を活用し、各自治会・町内会単位で市民活動団体のボランティアスタッフと協力し、子どもの体験活動を行い、同じ地域に住む子ども達と大人の新たな絆づくりを目的とする事業に取り組んでいます。
- 行政の専門職（健康増進課）と連携し、地域での主体的な健康づくりに取り組んでいます。
- 各団体（構成員5名以上）が自ら企画し、自然資源（里山河川）を活用してふれあいの場を設ける事業に対し、補助金を交付する事業に取り組んでいます。



▲元気あつぷ健康講座

今後の取組の方向性

- 大内地域の魅力を再発見し、活用する。
大内のすばらしい資源を再発見、活用して「大内らしい」地域づくりを進めていきます。
そして、子ども達をはじめ、大内に住む人や活動する人にとっての地域への誇りや愛着心を育てていきます。
- 隣近所の顔の見える関係をつくる。
高齢者や新しく大内に住む人が、精神面や情報面において孤立することがないように、地域で助け合い、支えあうことのできる関係づくりを進めていきます。
- 地域ぐるみで子どもを見守り、育てる。
子どもやその家族が精神的に孤立することがなく、元気に成長していけるよう、子どもの育成や安全を地域全体で支えていける環境づくりを進めていきます。

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 施策1-2 健康づくりの推進と地域医療の充実 | 施策2-2 生涯学習・社会教育の推進 |
| 施策1-3 高齢者福祉の充実 | 施策3-1 防災対策の充実 |
| 施策1-5 地域福祉の充実 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |



7 宮野地域

面積 / 38.41km²



1 地域の特色

地域の特色や課題

宮野地域は、山口市のほぼ中央に位置し、中央を北から西へ榎野川が流れています。ホテルが乱舞し、鮎が川面に銀鱗を躍らせる清流や、緑豊かな田園、山林など恵まれた自然環境や景観が保全されています。また、常栄寺や清水寺など市内でも有数の史跡が保存されています。

また、県立大学との連携に力を入れ、官・学・民が一体となった知的・文化活動の拠点として、また北部と中心部の交通網の結束点として、新たな活力を創造する地域づくりを進めています。

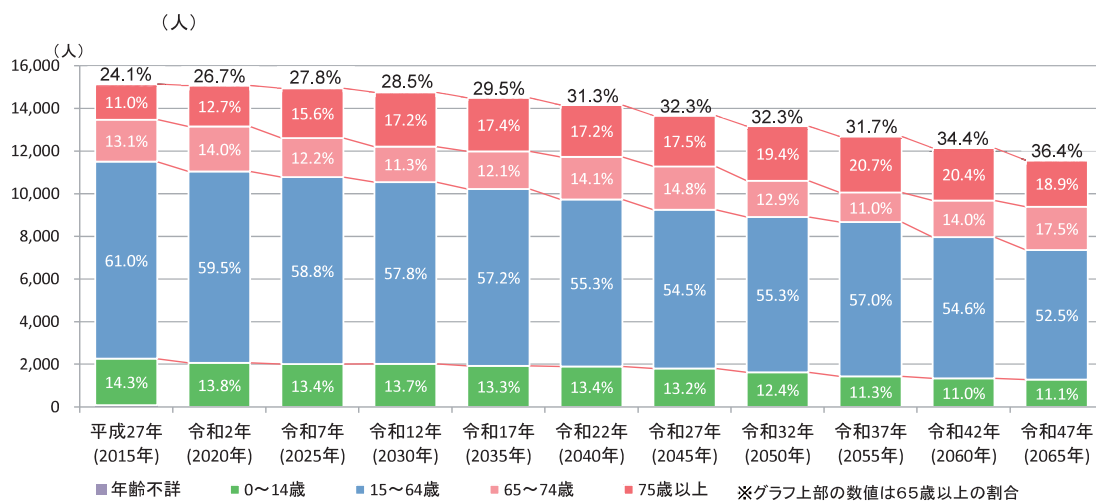
一方で、近年では店舗の廃業や高齢化の進行に伴う「買い物弱者」の増加や、2023年までの予定で北部キャンパスに移転中の県立大学の跡地利用問題等の課題があります。



▲地域交流ステーションでの着物喫茶

地域の概要、データ

将来人口推計と人口構成



| | 2015年 (H27) | 2020年 (R2) | 2025年 (R7) | 2030年 (R12) | 2035年 (R17) | 2040年 (R22) | 2045年 (R27) | 2050年 (R32) | 2055年 (R37) | 2060年 (R42) | 2065年 (R47) |
|--------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 総人口 | 15,136 | 15,061 | 14,936 | 14,743 | 14,495 | 14,163 | 13,659 | 13,163 | 12,679 | 12,144 | 11,569 |
| 65歳以上 | 3,641 | 4,024 | 4,152 | 4,198 | 4,271 | 4,435 | 4,410 | 4,256 | 4,019 | 4,178 | 4,208 |
| 75歳以上 | 1,664 | 1,908 | 2,329 | 2,533 | 2,521 | 2,433 | 2,384 | 2,557 | 2,625 | 2,475 | 2,184 |
| 65~74歳 | 1,977 | 2,115 | 1,824 | 1,664 | 1,749 | 2,002 | 2,027 | 1,699 | 1,394 | 1,703 | 2,024 |
| 15~64歳 | 9,239 | 8,961 | 8,783 | 8,525 | 8,289 | 7,826 | 7,450 | 7,280 | 7,224 | 6,635 | 6,078 |
| 0~14歳 | 2,167 | 2,076 | 2,001 | 2,021 | 1,935 | 1,901 | 1,798 | 1,627 | 1,435 | 1,331 | 1,283 |
| 年齢不詳 | 89 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 宮野 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 6,611世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 42 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



前期基本計画

4 地域づくりの方向性

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／みやの地域づくり協議会

目指す地域の姿

地域住民や各種団体との連携・融和を図るとともに、地域課題の解決に向けた活動を活性化し、安心・安全な地域を目指します。

これまでの主な取組

- ゴミのない美化活動の盛んな地域にするために、不法投棄防止啓発ポスターの募集や応募作品で作製した防止啓発看板を不法投棄の常習地帯に設置するとともに、実態を広報することにより地域住民へ再認識を促すなど、不法投棄防止の普及啓発に取り組んでいます。
- あいさつ交流を継続し、助け合いが出来る地域を目指して、あいさつ運動の標語を募集し、入賞作品の幟旗を作製するとともに、その幟旗を全地域に設置し、「助け合いのできる、明るい宮野」の啓発に取り組んでいます。



▲不法投棄防止啓発看板の設置

今後の取組の方向性

- 地域の環境美化活動や里山資源の利活用、県立大学との交流が盛んで、人権が尊重される地域づくりに取り組めます。
- 地域全体であいさつ運動等を継続することにより助け合いがしっかりできる地域づくり、地域福祉活動の進んだ地域づくりに取り組めます。また、子育てしやすく、一人暮らしでも安心して生活でき、交通に不便を感じない地域づくりに取り組めます。
- 安心して暮らせる治安がよい地域、交通事故のない、防災意識の高い地域づくりに取り組めます。
- 健康づくりが盛んで、運動行事に参加しやすい地域づくりに取り組めます。
- 歴史や文化を情報共有し、文化活動が進んだ地域づくりに取り組めます。
- 宮野地域の将来に大きく関わる県立大学の跡地利用について研究するとともに、買い物環境等生活環境の改善に取り組めます。



▲あいさつ運動の幟旗

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 施策1-5 地域福祉の充実 | 施策3-3 交通安全の推進と防犯体制の充実 |
| 施策2-2 生涯学習・社会教育の推進 | 施策3-6 自然環境の保全と衛生的な生活環境の維持 |
| 施策2-3 文化、芸術、歴史の継承と創造 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |



1

地域の特色

地域の特色や課題

吉敷地域は、市街地に近く位置し、現在も宅地開発が進むなど人口が多く、様々な企業や商業施設が立ち並び、維新百年記念公園や県下有数の大規模校である良城小学校を有するなど都会的な側面を持つ一方で、東西の鳳凰山を背景に吉敷川でホテルが飛び交うなど自然にも恵まれています。また、多くの名所・旧跡があり、歴史上の偉人やオリンピック金メダリストを輩出するなど人材も豊富です。

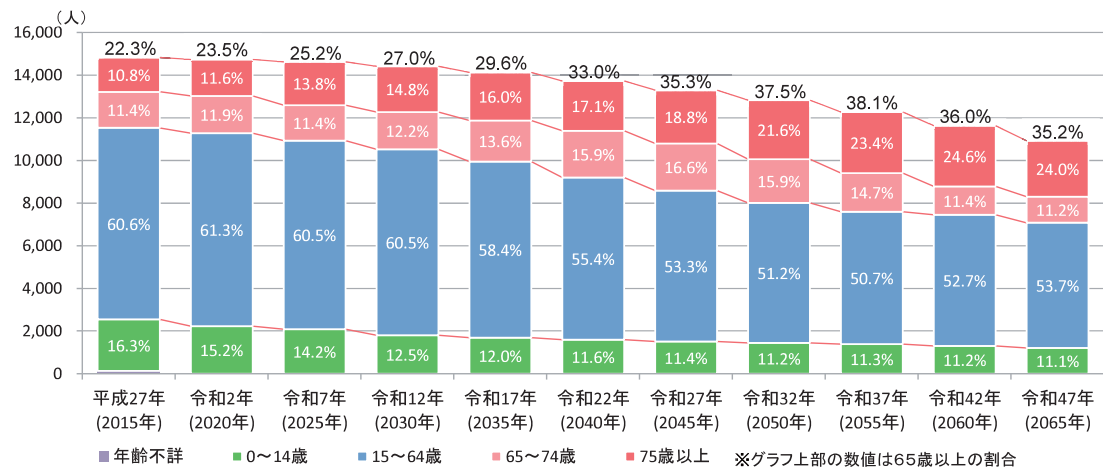


▲鳳凰山と春の吉敷川

一方で、高齢化や核家族化が進むとともに、新たに移り住んでこられる方が多いため、身近な住民同士が気軽に交流できる様々な機会が求められています。

地域の概要、データ

■将来人口推計と人口構成



| | 2015年 (H27) | 2020年 (R2) | 2025年 (R7) | 2030年 (R12) | 2035年 (R17) | 2040年 (R22) | 2045年 (R27) | 2050年 (R32) | 2055年 (R37) | 2060年 (R42) | 2065年 (R47) |
|------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 総人口 | 14,823 | 14,737 | 14,616 | 14,412 | 14,123 | 13,730 | 13,288 | 12,823 | 12,268 | 11,634 | 10,920 |
| 65歳以上 | 3,300 | 3,467 | 3,685 | 3,896 | 4,177 | 4,532 | 4,694 | 4,815 | 4,669 | 4,192 | 3,846 |
| 75歳以上 | 1,606 | 1,712 | 2,020 | 2,137 | 2,255 | 2,348 | 2,493 | 2,770 | 2,866 | 2,861 | 2,618 |
| 65~74歳 | 1,694 | 1,754 | 1,665 | 1,759 | 1,922 | 2,184 | 2,201 | 2,044 | 1,803 | 1,331 | 1,228 |
| 15~64歳 | 8,977 | 9,035 | 8,848 | 8,717 | 8,253 | 7,601 | 7,085 | 6,568 | 6,214 | 6,135 | 5,863 |
| 0~14歳 | 2,411 | 2,236 | 2,082 | 1,799 | 1,692 | 1,597 | 1,509 | 1,441 | 1,384 | 1,307 | 1,211 |
| 年齢不詳 | 135 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

■世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 吉敷 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 6,024世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 16 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



みんなで支え合う 笑顔あふれるふれあいのまち 吉敷

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／吉敷地区地域づくり協議会

目指す地域の姿

地域住民同士が活発に交流し、地域の歴史や文化が後世に語り継がれ、豊かな自然環境が守られるなど、誰もが住んでよかったと思えるような地域を目指します。

これまでの主な取組

- 多くの方に吉敷地域を散策していただき、吉敷の自然や文化の魅力を再認識・再発見していただくため、地域散策ガイドブック「吉敷さんぽ」を作成しました。
- 人と人との交流を促進するため、「よしき夏まつり」や「ふるさとまつり」を開催するとともに、地域づくりを担う人材を発掘する「交流事業」を実施しました。



▲地域散策ガイドブック「吉敷さんぽ」刊行

今後の取組の方向性

- ふれあいと交流による元気で住みよいまち
自治会などのコミュニティ活動の活性化や、人と人がふれあい、交流する場づくりに取り組みます。
- ともに支え合い心豊かに暮らせるまち
誰もがその人らしく、健康で心豊かに生活できるよう、地域住民がともに支え合い、助け合える地域の輪づくりを進めます。
- みんなで協力してつくる安心で安全なまち
住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるよう、交通安全や防犯、地域防災への取り組みを進めます。
- 美しい自然をみんなで守る快適なまち
緑あふれる美しい自然環境を守るとともに、誰もが快適に生活できる住環境の実現に取り組みます。
- 固有の歴史や文化による個性あふれるまち
地域の歴史や伝統を継承・保存するとともに、これらを再発見・再認識しながら、地域内はもとより他地域との新たな交流の機会を創出します。



▲よしき夏まつりに集う人々

.....市の主な関連する施策.....

施策1-3 高齢者福祉の充実

施策1-5 地域福祉の充実

施策2-2 生涯学習・社会教育の推進

施策2-3 文化、芸術、歴史の継承と創造

施策3-3 交通安全の推進と防犯体制の充実

施策5-1 地域活動と市民活動の推進

III

前期基本計画

4

地域づくりの方向性



1

地域の特色

地域の特色や課題

平川地域は、山口盆地を貫流する樫野川の左岸にあって、ほぼ中央を東西に流れる九田川に沿って、家や商店が並び周辺に広がっています。従来、農業中心の自然環境と文化遺産に富んだ、のどかな農村地域でしたが、幼稚園から大学、支援学校等の教育施設がすべて地区内にある、稀な文教地域へと変貌した国際交流が盛んな、人口が増加している地域です。

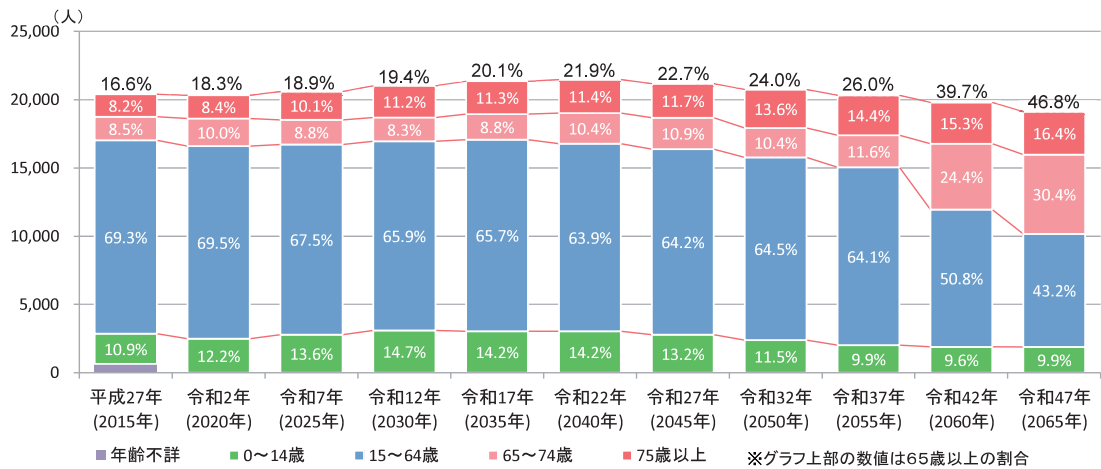


▲平清水八幡宮本殿

一方では、都市化の進展に対する公共インフラの遅れ、地域活動への関心・参画の希薄化、高齢化などの課題があります。

地域の概要、データ

■将来人口推計と人口構成



| | 2015年(H27) | 2020年(R2) | 2025年(R7) | 2030年(R12) | 2035年(R17) | 2040年(R22) | 2045年(R27) | 2050年(R32) | 2055年(R37) | 2060年(R42) | 2065年(R47) |
|--------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総人口 | 20,402 | 20,320 | 20,601 | 21,028 | 21,355 | 21,469 | 21,160 | 20,743 | 20,326 | 19,791 | 19,122 |
| 65歳以上 | 3,395 | 3,724 | 3,892 | 4,081 | 4,284 | 4,699 | 4,794 | 4,977 | 5,285 | 7,854 | 8,958 |
| 75歳以上 | 1,669 | 1,697 | 2,083 | 2,346 | 2,414 | 2,457 | 2,480 | 2,816 | 2,931 | 3,021 | 3,145 |
| 65~74歳 | 1,726 | 2,027 | 1,809 | 1,735 | 1,870 | 2,243 | 2,313 | 2,161 | 2,354 | 4,833 | 5,813 |
| 15~64歳 | 14,145 | 14,119 | 13,911 | 13,851 | 14,028 | 13,729 | 13,577 | 13,386 | 13,039 | 10,046 | 8,265 |
| 0~14歳 | 2,233 | 2,477 | 2,798 | 3,095 | 3,042 | 3,041 | 2,789 | 2,380 | 2,002 | 1,891 | 1,898 |
| 年齢不詳 | 629 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

■世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 平川 | 市全体 |
|----------|----------|----------|
| 世帯数 | 11,193世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 39 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／平川コミュニティ推進協議会

目指す地域の姿

平川のまちづくりの基本目標である「安心と笑顔でずっと住みたい平川、戻ってきたい平川」の実現に向け、幸せが実感できるまちづくりを進めます。

これまでの主な取組

- 山口大学と一緒に、地域の現状・課題を整理し、地域特性を生かしたまちの将来像と具体的な計画や施策の基本となる平川まちづくりビジョンを作成しました。
- 平川地域自主防災組織の確立、災害に備えた体制の構築に努めるとともに、先進事例等の情報提供や防災研修等の防災意識啓発に取り組んでいます。
- 地域で子どもたちを守る活動として見守り活動やあいさつ運動を展開し、地域住民同士のつながりを強める活動に取り組んでいます。



▲見守り活動

今後の取組の方向性

「安心・話題・絆・笑顔・自分らしさ・故郷・楽しみ」づくりの7色(にじ色)の実践項目が重なり合い、つながる暮らしづくりを進めます。

- 安心・話題づくり(情報と安心)
自主防災組織の支援・推進に取り組むとともに、災害・避難等の情報だけでなく地域情報や行事、自治会活動など様々な情報を発信し、伝え合うことにより安心につなげていきます。
- 故郷・楽しみづくり(故郷で楽しく)
スポーツや文化等の交流、平川の文化継承や自治会活動を推進し、幅広い年齢層の方々の楽しみにつなげていきます。
- 楽しみ・安全づくり(安心と楽しみ)
声かけや見守り活動の推進、道路等の公共空間の美化活動の推進、外灯・防犯灯等の環境整備の促進により、安心して安全に楽しく生活できるまちづくりにつなげていきます。



▲防災研修会

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 施策2-2 生涯学習・社会教育の推進 | 施策3-3 交通安全の推進と防犯体制の充実 |
| 施策2-3 文化、芸術、歴史の継承と創造 | 施策3-6 自然環境の保全と衛生的な生活環境の維持 |
| 施策3-1 防災対策の充実 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |

10 大歳地域

面積/10.82km²



1

地域の特色

地域の特色や課題

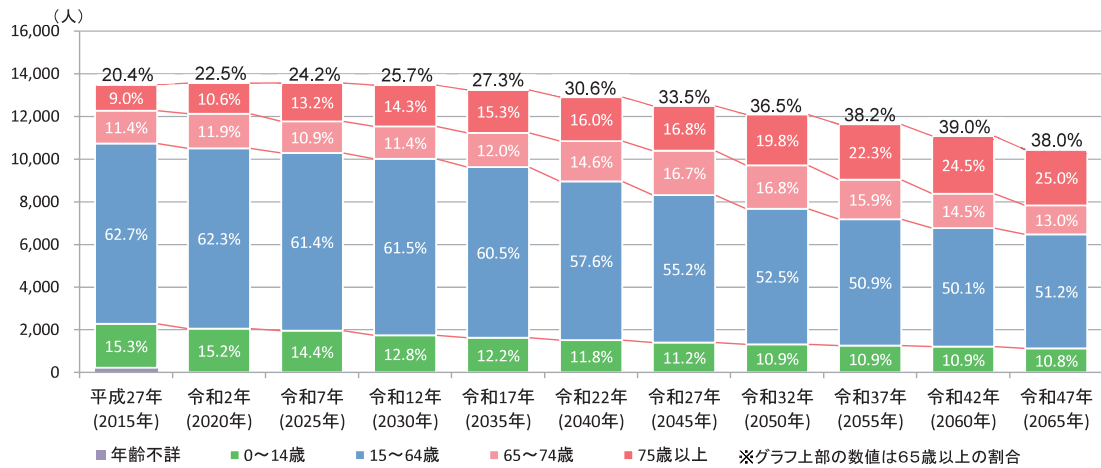
大歳地域は東西7km、南北4kmと細長い地形をしており、東は湯田温泉に隣接する住宅地域、西は小郡地域と隣接する田園風景を残しながらも大型商業施設も建つ住宅地域となっています。市の中心部にも近く利便性に優れていることから宅地化が進んでおり、この30年で世帯数はほぼ2倍の約6,300世帯となり、人口も13,000人を超えました。自治会は大小様々で、それぞれ役員を中心に地域活動を進めていますが、人の価値観の多様化やアパートの増加等による地域社会を取り巻く環境の変化により、隣り近所の交流が薄れ、高齢化や核家族化等の影響から、地域や家庭での防災対策、子どもや高齢者等の交通や生活に関する見守りなど、様々な生活課題が現れています。



▲朝田神社

地域の概要、データ

将来人口推計と人口構成



| | 2015年(H27) | 2020年(R2) | 2025年(R7) | 2030年(R12) | 2035年(R17) | 2040年(R22) | 2045年(R27) | 2050年(R32) | 2055年(R37) | 2060年(R42) | 2065年(R47) |
|--------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総人口 | 13,481 | 13,562 | 13,568 | 13,466 | 13,247 | 12,905 | 12,494 | 12,092 | 11,626 | 11,084 | 10,443 |
| 65歳以上 | 2,755 | 3,051 | 3,277 | 3,457 | 3,619 | 3,954 | 4,187 | 4,416 | 4,441 | 4,320 | 3,970 |
| 75歳以上 | 1,214 | 1,436 | 1,795 | 1,928 | 2,027 | 2,069 | 2,097 | 2,388 | 2,591 | 2,712 | 2,610 |
| 65~74歳 | 1,541 | 1,614 | 1,483 | 1,529 | 1,591 | 1,884 | 2,090 | 2,028 | 1,850 | 1,609 | 1,360 |
| 15~64歳 | 8,447 | 8,450 | 8,332 | 8,279 | 8,009 | 7,433 | 6,902 | 6,352 | 5,923 | 5,557 | 5,344 |
| 0~14歳 | 2,065 | 2,062 | 1,959 | 1,730 | 1,620 | 1,518 | 1,405 | 1,324 | 1,262 | 1,206 | 1,129 |
| 年齢不詳 | 214 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 大歳 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 6,336世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 28 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



前期基本計画

4

地域づくりの方向性

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／大歳自治振興会

目指す地域の姿

- ① みんなで参加 心をつなぐまち
- ② 育み見守るやさしいまち
- ③ 安全で安心して暮らせるまち
- ④ 気持ちのよいきれいなまち
- ⑤ 笑顔で楽しくふれあうまち



▲おおとし夏まつり

これまでの主な取組

- 広報誌「かわら版おおとし」を発行して地域情報の共有を図り、あいさつ標語のぼり旗の作成などあいさつ運動を推進して地域の交流を深めました。
- おおとし見守り隊を結成し、子どもたちの見守り・交通安全立哨を行いました。
- ふれあいサロンの活動支援や健康講座を実施して高齢者の健康長寿を図り、子ども会活動を支援して子育て支援体制の充実に努めました。
- 防犯灯の設置・LED化、反射鏡の設置助成や防犯パトロールなどの生活・交通安全対策を実施しました。自主防災組織への支援や「おおとし防災の日」イベントの開催により防災意識の向上に努めました。
- 大歳草刈隊の活動推進や啓発看板の設置、「ごみ出しマナーアップ」チラシ作成等により、地域の環境美化に取り組みました。
- 「1自治会1事業」の実施支援、「三世代交流事業」の実施、「おおとし夏まつり」・「大歳まつり」の開催、花いっぱい運動の実施により、地域の交流・活性化を推進しました。



▲おおとし防災の日イベント

今後の取組の方向性

平成30年度までの第2次大歳地区地域づくり計画は、個々の事業では一定の成果をあげており、引き続き事業を継続していきます。また、世代間交流や住民のコミュニティ活動のさらなる推進のため、高齢者生きがいセンターの整備について検討委員会を開催し協議を進めます。大歳地域は若い世代の転入も多く、人口が増加していますが、地域づくりの中核となる人材の育成が大きな課題となっており、たくさんの活動を通じて次世代へのバトンタッチを模索していきます。

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 施策1-3 高齢者福祉の充実 | 施策3-1 防災対策の充実 |
| 施策1-5 地域福祉の充実 | 施策3-3 交通安全の推進と防犯体制の充実 |
| 施策2-2 生涯学習・社会教育の推進 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |

11 陶地域

面積/11.52km²



1

地域の特色

地域の特色や課題

陶地域は、山口市中心部から10kmほど南に位置し、地域の北部は高さ200m～400m級の山々が連なり、中央部は段丘状の台地が広がり、南部一帯は中世末から近世初期に造られた干拓地が広がっています。奈良時代から平安時代にかけて、産出した良質の粘土を使って「須恵器」を生産しており、北西部の山麓には、国指定史跡の「陶陶窯跡」のほか、多くの窯跡が確認され、陶の地名は、そこに由来するといわれています。



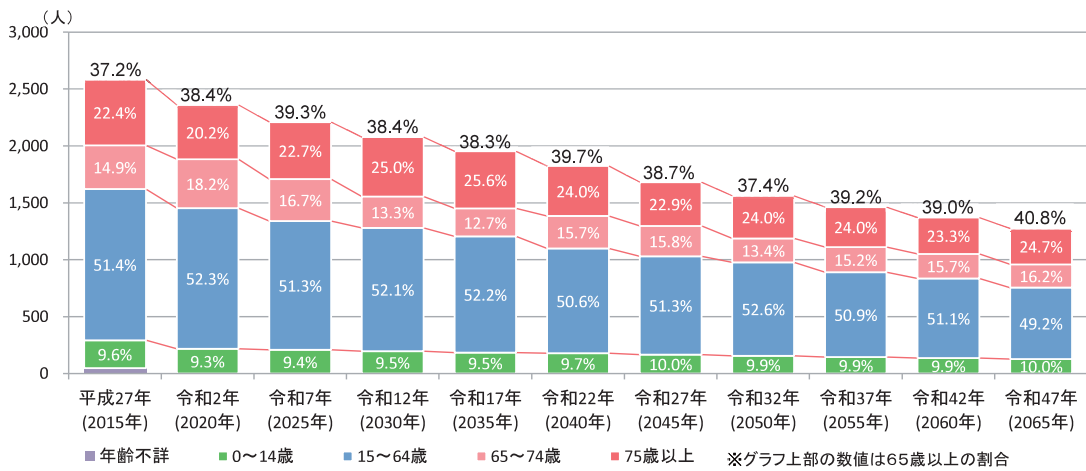
▲陶ヶ岳から南部干拓地を眺める

現在、地域の中央部には国道2号線とJR山陽本線が併走し、高速交通には恵まれています。また、地域内には商業施設がほとんどなく、医療機関などもないため、近隣地域に頼っている状況です。

また、少子化や若者の地域外流出等の現状から、地域内の若者人口が減少傾向にあり、地域の将来を担う人材の育成が求められています。

地域の概要、データ

将来人口推計と人口構成



| | 2015年(H27) | 2020年(R2) | 2025年(R7) | 2030年(R12) | 2035年(R17) | 2040年(R22) | 2045年(R27) | 2050年(R32) | 2055年(R37) | 2060年(R42) | 2065年(R47) |
|--------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総人口 | 2,584 | 2,359 | 2,210 | 2,077 | 1,951 | 1,822 | 1,682 | 1,562 | 1,462 | 1,371 | 1,274 |
| 65歳以上 | 962 | 906 | 869 | 797 | 747 | 723 | 651 | 585 | 573 | 535 | 520 |
| 75歳以上 | 578 | 477 | 501 | 519 | 500 | 438 | 385 | 376 | 351 | 320 | 314 |
| 65～74歳 | 384 | 429 | 368 | 277 | 247 | 285 | 266 | 209 | 222 | 215 | 206 |
| 15～64歳 | 1,329 | 1,234 | 1,134 | 1,083 | 1,018 | 922 | 863 | 822 | 744 | 701 | 627 |
| 0～14歳 | 247 | 219 | 207 | 198 | 186 | 177 | 168 | 155 | 145 | 135 | 127 |
| 年齢不詳 | 46 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 陶 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 1,010世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 16 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



前期基本計画

4

地域づくりの方向性

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／陶連合自治会

目指す地域の姿

地域内の資源(人・物)を活用し、「災害に強いまちづくり」「情報を共有したまちづくり」「住みやすく安らぎのあるまちづくり」「美しい安全なまちづくり」「ふるさとの歴史や文化でまちづくり」の各分野に取り組み、「みんなで作る住んで誇りに思う陶」を目指しています。

これまでの主な取組

「ふれあいづくり」「出番づくり」「安心づくり」の3つのねらいを掲げ、地域内のつながりづくりを図るため、「陶地区民運動会」や「陶ふれあいまつり」などを行っています。

また、美しく安全なまちを目指し、地域内のふれあいを深めるため、地域住民全体による「陶グリーン作戦」を実施しています。



▲陶地区民運動会

今後の取組の方向性

- 自主防災活動の推進や道路、生活環境基盤の整備を進めるとともに、ふれあい活動、助け合い活動などにも取り組みます。
- 地域内の情報共有化を進めるため、地域広報誌「まるごと陶」を引き続き発行します。また、「地区民運動会」や「ふれあいまつり」を継続して実施します。
- 地域内における知識や伝統の継承、異世代間の関係構築などを図るため、三世代交流を実施します。また、高齢化の進展に対応するため、高齢者支援に向けた取組も進めます。
- 早朝立哨を通じた交通安全の啓発や小学生の下校時見守りなどの活動に取り組みます。また、「陶グリーン作戦」を引き続き実施します。
- 地域の良さを生かす取組や、地域内にある文化財の保護に向けた活動を行います。



▲三世代交流

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 施策1-3 高齢者福祉の充実 | 施策3-1 防災対策の充実 |
| 施策2-2 生涯学習・社会教育の推進 | 施策3-6 自然環境の保全と衛生的な生活環境の維持 |
| 施策2-3 文化、芸術、歴史の継承と創造 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |



12 鑄銭司地域

面積 / 20.42km²



1

地域の特色

地域の特色や課題

鑄銭司地域は、その名が示すとおり、平安時代に貨幣を作る役所があった地です。また、明治維新の先覚者、「大村益次郎」の生誕地であることから、関連の歴史資源も多く残されています。

地域は、国道2号線が貫き、山陽自動車道山口南ICが設けられ、市が鑄銭司団地を整備し流通業や運送会社等の営業拠点が置かれています。山陽本線四辻駅があり山陽新幹線新山口駅にも近接するため市内有数の広域交通網の拠点となっています。

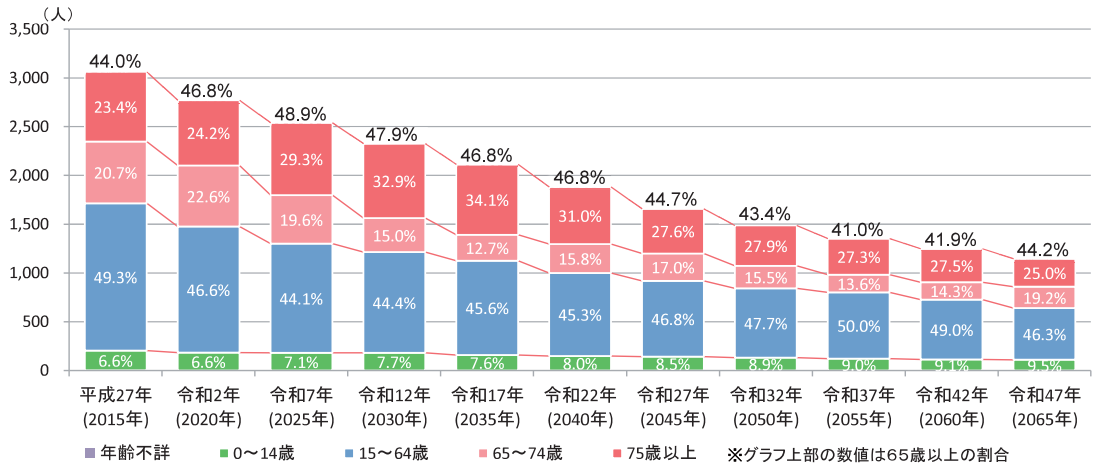
しかし、少子化により人口減少が急速に進み、10年間で人口は約9.0%減少しています。老年人口比率が40%を超える一方で、年少人口比率が6.6%と非常に低く、著しく高齢化が進んでおり、その対応が課題となっています。



▲長沢池から望む大村神社

地域の概要、データ

将来人口推計と人口構成



| | 2015年 (H27) | 2020年 (R2) | 2025年 (R7) | 2030年 (R12) | 2035年 (R17) | 2040年 (R22) | 2045年 (R27) | 2050年 (R32) | 2055年 (R37) | 2060年 (R42) | 2065年 (R47) |
|--------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 総人口 | 3,064 | 2,773 | 2,541 | 2,328 | 2,113 | 1,880 | 1,659 | 1,486 | 1,354 | 1,249 | 1,145 |
| 65歳以上 | 1,349 | 1,299 | 1,241 | 1,115 | 989 | 879 | 741 | 645 | 555 | 523 | 506 |
| 75歳以上 | 716 | 672 | 744 | 766 | 721 | 582 | 459 | 414 | 370 | 344 | 286 |
| 65~74歳 | 633 | 627 | 497 | 349 | 269 | 297 | 282 | 231 | 185 | 179 | 220 |
| 15~64歳 | 1,511 | 1,292 | 1,120 | 1,033 | 963 | 851 | 776 | 709 | 677 | 612 | 529 |
| 0~14歳 | 201 | 182 | 179 | 179 | 161 | 150 | 141 | 132 | 122 | 114 | 109 |
| 年齢不詳 | 3 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 鑄銭司 | 市全体 |
|----------|-------|----------|
| 世帯数 | 945世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 18 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



前期基本計画

4 地域づくりの方向性

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／鑄銭司自治会

目指す地域の姿

「みんなで作ろう 明るい鑄銭司」をキャッチフレーズとして地域づくり計画の目標に設定し、地域のコミュニティ強化を図りながら、「自助・共助・公助」を推進し、住み良い地域づくりを目指します。

これまでの主な取組

- 地域内の活性化を目的とする活動団体や地域行事を支援し、単位自治会長情報交換会や新年互礼会を開催して、情報の共有化を図るとともに、地区内の企業と住民が交流を深める活動に取り組んでいます。
- ここは古銭及び明治維新の先覚者大村益次郎のふるさとです。この「鑄銭司の誇り」を全国に力強く発信することにより地域の活性化を図ります。



▲新年互礼会

今後の取組の方向性

- 各世代に役立つ広報活動に努め、広報誌の一元化やホームページの見直し検討、住民アンケートなどを実施します。また、自然災害に対応できる地域づくりを目指し、防災学習会の開催や防災訓練を実施します。
- 独自の伝統文化を伝承するとともに、郷土の歴史・文化財を誇りにする地域づくりを進めます。また、大村益次郎没後150年を契機に彼の墓所周辺整備や記念イベント等を行います。
- 長沢池周辺が憩いの場となるよう、「長沢パーク構想」の実現に努め、芝桜や大内桜であふれる自然景観を保全するとともに、多くの登山者でにぎわう陶ヶ岳において、自生するやぶ椿の保護活動を実施します。
- 生きがい活動のための情報発信と人材発掘に努め、地域の子育てサポートシステムの確立が図れるよう三世代交流を推進します。



▲避難訓練のあとの防災学習会

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 施策2-2 生涯学習・社会教育の推進 | 施策3-6 自然環境の保全と衛生的な生活環境の維持 |
| 施策2-3 文化、芸術、歴史の継承と創造 | 施策4-1 豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり |
| 施策3-1 防災対策の充実 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |



1

地域の特色

地域の特色や課題

名田島地域は、大部分が海を人工的に陸地化した干拓地であり、農業を基幹産業とした県内有数の穀倉地帯です。農業生産物は、米、麦、大豆に加えて、はなっこりー、スイートコーンなど独自性のある出荷物があります。

また、本市の玄関口である小郡地域に隣接しており、JR新山口駅、山陽自動車道山口南インターチェンジ、山口宇部空港などに短時間に到達できる優れた立地条件を有しています。

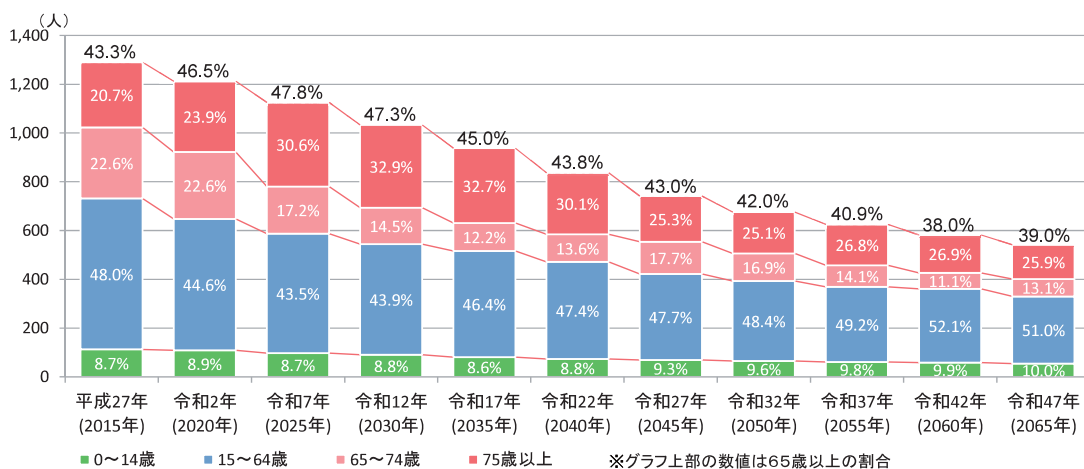
田園の豊かな自然、美しい景観や文化、結びつきの強い地域コミュニティといった地域特性を生かしながら地域づくりを進めていますが、少子高齢化や人口減少が加速化していく中で、その勢いを食い止め、持続可能な地域を目指していくことが今後の大きな課題となっています。



▲名田島の田園風景

地域の概要、データ

将来人口推計と人口構成



| | 2015年(H27) | 2020年(R2) | 2025年(R7) | 2030年(R12) | 2035年(R17) | 2040年(R22) | 2045年(R27) | 2050年(R32) | 2055年(R37) | 2060年(R42) | 2065年(R47) |
|--------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総人口 | 1,290 | 1,212 | 1,125 | 1,033 | 937 | 837 | 741 | 676 | 625 | 582 | 542 |
| 65歳以上 | 559 | 563 | 538 | 489 | 421 | 366 | 318 | 284 | 256 | 221 | 211 |
| 75歳以上 | 267 | 289 | 345 | 339 | 306 | 252 | 187 | 169 | 168 | 156 | 140 |
| 65~74歳 | 292 | 274 | 193 | 149 | 115 | 114 | 131 | 114 | 88 | 65 | 71 |
| 15~64歳 | 619 | 540 | 490 | 453 | 435 | 397 | 353 | 327 | 308 | 303 | 276 |
| 0~14歳 | 112 | 108 | 98 | 91 | 81 | 74 | 69 | 65 | 61 | 57 | 54 |
| 年齢不詳 | 0 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 名田島 | 市全体 |
|----------|-------|----------|
| 世帯数 | 476世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 13 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



前期基本計画

4

地域づくりの方向性

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／名田島自治会連合会

目指す地域の姿

農村の持つ優れた自然や文化、結びつきの強い地域コミュニティといった地域特性を生かし、自然と人の両方が尊重される社会を創り上げることで、今の子どもたちが大人になったとき、「自分の子どもを名田島の地で育てたい」と思えるような、自然が豊かで人々に活力のある自立した地域づくりを目指します。

これまでの主な取組

- 地域づくり活動を広く周知するため、広報誌を発行しています。また、ホームページやFacebookを定期更新し、地域内外へ名田島の今を情報発信しています。
- 各集落において、「お宝展」や三世代交流の「夏祭り」、防災意識啓発活動など、自治会活動の活性化を図る「一集落一事業」を実施しています。
- 平成26年度に芝生化された名田島小学校グラウンドは、地域住民や教育振興会を中心とした芝生管理グループ「名田島しばもり隊」によって管理され、地区民体育大会などの体育行事や定期利用団体に活用されることにより、運動の促進や地域コミュニティの醸成につながっています。
- 過去に多くの尊い命を失った水害の教訓から、毎年8月に地域全体の防災訓練を実施することで、地域の防災力の強化を図っています。



▲芝生での運動会



▲有志による茶話会

今後の取組の方向性

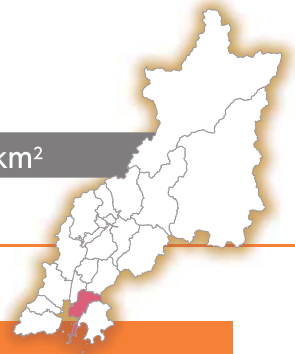
- 生まれ育ったふるさと名田島を次世代に引き継ぐため、情報発信の強化や名田島版空き家バンク制度を本格始動させるなどの対応策により、定住人口の増加を目指します。
- 青壮年層を中心とした意見交換の場「名田島未来フォーラム」の成果として、参加者有志による地域づくりへの参画の足がかりとなる活動が開始されたところであり、新たな地域づくりの担い手となるよう活動支援を行っていきます。

.....市の主な関連する施策.....

施策2-2 生涯学習・社会教育の推進
施策3-1 防災対策の充実

施策5-1 地域活動と市民活動の推進





1

地域の特色

地域の特色や課題

秋穂二島地域は、なだらかな山々を背に、広大な平野部に水田を中心とする農地が広がるとともに、周防灘に突き出た岩屋半島に自然のままの海岸線が残り、美しい景観と澄んだ海が広がり、周防大橋や幹線道路により交通のアクセス利便性に優れており、多岐にわたって魅力を秘めている地域です。

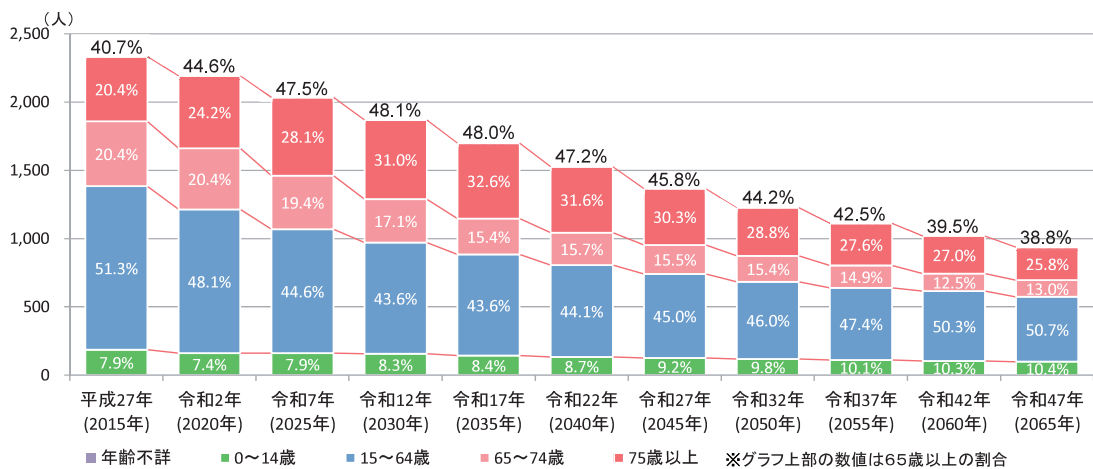


▲兜山古墳

地域内には、県の研修施設や「八十八ヶ所霊場」の一部、「兜山古墳」といった地域資源もあり、これらの教育・文化・自然の資源を活用しながら、他地域との交流を図るとともに、少子高齢化が進む中で、子どもたちの健やかな成長と活力あふれる地域社会の実現を目指していくことが今後の課題となっています。

地域の概要、データ

将来人口推計と人口構成



| | 2015年 (H27) | 2020年 (R2) | 2025年 (R7) | 2030年 (R12) | 2035年 (R17) | 2040年 (R22) | 2045年 (R27) | 2050年 (R32) | 2055年 (R37) | 2060年 (R42) | 2065年 (R47) |
|--------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 総人口 | 2,333 | 2,192 | 2,035 | 1,869 | 1,700 | 1,527 | 1,367 | 1,227 | 1,110 | 1,018 | 937 |
| 65歳以上 | 950 | 978 | 967 | 898 | 817 | 721 | 625 | 543 | 472 | 402 | 364 |
| 75歳以上 | 475 | 530 | 572 | 579 | 555 | 482 | 414 | 354 | 307 | 275 | 242 |
| 65~74歳 | 475 | 448 | 394 | 319 | 262 | 239 | 212 | 189 | 166 | 127 | 122 |
| 15~64歳 | 1,197 | 1,053 | 908 | 815 | 741 | 673 | 615 | 565 | 526 | 512 | 476 |
| 0~14歳 | 185 | 161 | 160 | 155 | 143 | 133 | 126 | 120 | 112 | 104 | 98 |
| 年齢不詳 | 1 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 秋穂二島 | 市全体 |
|----------|-------|----------|
| 世帯数 | 882世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 10 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



前期基本計画

4

地域づくりの方向性

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／秋穂二島地区連合自治会

目指す地域の姿

「HOT 愛を二島」 (地域づくりの理念)

「HOT 愛を二島」とは、「HOT(ほっと)」は安心を感じさせ、「あたらしい」「あつい」「あたためた」「活気のある」の意味を持ち、地域住民がいきいきと、このHOTな「愛を」お互いに育み、

H : 「人 (Human) づくり」

O : 「オンリーワン (Only one) づくり」

T : 「トータル拠点 (Total standpoint) づくり」に取り組み、理想郷「二島」を創造します。

これまでの主な取組

- 子育て支援及び多世代交流を目的に、子育てに関する講演会や子育て支援団体による昔の遊びコーナー、杵による餅つき等を行う「子ども広場」を継続的に開催しています。
- 地域資源の魅力向上のため、平成24年度から地区内のボランティアにより、兜山古墳整備に取り組んでいます。平成28年度からは地域づくり交付金を活用し、専門業者による伐採も行っており、自然豊かな瀬戸内海の美しい景観、周防大橋・きららドームが一望できるすばらしい景色となり、兜山古墳の魅力向上に寄与しています。



▲子ども広場



▲兜山古墳整備

今後の取組の方向性

- 平成28年6月に「二島地区まちづくりアンケート」を実施し、若く元気な世代が中心となり、地域が抱えている課題や対応策について、協議・検討を進めています。その中で、「住宅問題」や「空き家問題」について専門的に取り組むため、二島定住促進委員会『住もう家(すもうや)』を設立し、人口減少の抑制及び転入者の増加を図るため、山口市空き家バンク制度を活用した住みよい二島づくりに取り組んでいきます。
- 美濃ヶ浜をはじめとする豊かで美しい自然、歴史的価値のある兜山古墳、さらには潮湯のある潮寿荘、これらの地域資源の有効活用を図るため、かつて親しまれてきた兜山古墳から潮寿荘までの遊歩道の復活を視野に入れ、交流拠点として兜山古墳整備に取り組んでいきます。

.....市の主な関連する施策.....

施策2-2 生涯学習・社会教育の推進

施策5-1 地域活動と市民活動の推進

施策4-1 豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり



15 嘉川地域

面積/28.87km²



1

地域の特色

地域の特色や課題

嘉川地域は、山口市南部の樅野川河口の西部に位置し、最高峰は禅定寺山で山口湾を望む段丘地と干拓地からなり、古くから賀宝(かがほ)の里と云われ、山陽道の宿場町(市)として栄えた土地柄で、地域内には遺跡・史跡が多く存在しています。



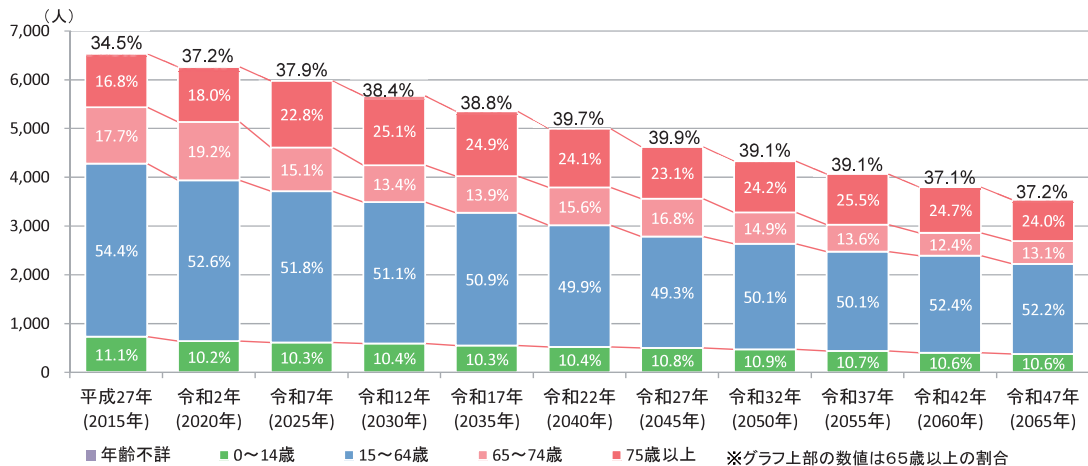
▲御伊勢山から望む嘉川地域

現在も交通の便が非常に良く、道路は国道2号・190号、山口宇部道路、県道212号(きらら道路)、鉄道は山陽本線(嘉川駅)、宇部線(上嘉川駅・深溝駅)が通っています。主要道路沿線には、流通団地が多く立地しています。

一方では、少子高齢化が進んでいる状況にあり、地域福祉活動の推進や地域特性を生かした発展計画づくりが課題となっています。

地域の概要、データ

将来人口推計と人口構成



| | 2015年(H27) | 2020年(R2) | 2025年(R7) | 2030年(R12) | 2035年(R17) | 2040年(R22) | 2045年(R27) | 2050年(R32) | 2055年(R37) | 2060年(R42) | 2065年(R47) |
|--------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総人口 | 6,533 | 6,264 | 5,975 | 5,666 | 5,352 | 4,998 | 4,624 | 4,328 | 4,064 | 3,799 | 3,541 |
| 65歳以上 | 2,252 | 2,328 | 2,263 | 2,178 | 2,077 | 1,985 | 1,843 | 1,692 | 1,590 | 1,409 | 1,316 |
| 75歳以上 | 1,098 | 1,126 | 1,363 | 1,420 | 1,331 | 1,207 | 1,066 | 1,049 | 1,037 | 937 | 851 |
| 65~74歳 | 1,154 | 1,202 | 900 | 758 | 746 | 778 | 777 | 643 | 554 | 472 | 465 |
| 15~64歳 | 3,551 | 3,296 | 3,097 | 2,896 | 2,726 | 2,493 | 2,281 | 2,167 | 2,037 | 1,989 | 1,850 |
| 0~14歳 | 725 | 640 | 615 | 592 | 549 | 520 | 500 | 470 | 436 | 401 | 376 |
| 年齢不詳 | 5 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 嘉川 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 2,481世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 39 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



前期基本計画

4

地域づくりの方向性

人・まち・自然が輝き、安心・安全に暮らせる 活力ある「嘉川のまちづくり」の推進

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／嘉川自治連合会

目指す地域の姿

あいさつを通じて心が通い合い、地域の文化や風土を大切に、地域住民が協働して地域活動に励み、安心・安全に暮らすことができ、人が集まる活気のある地域を目指します。

これまでの主な取組

- 地域住民のつながりを育むため、小中学校を中心に地域に広がるあいさつ運動に取り組んでいます。
- 自然災害へ対応するために、地域全体での避難訓練や小中学生を対象とした防災学習、防災ボランティアの育成など防災意識の向上に取り組んでいます。
- 地域の歴史を学び、再発見をするために「ふるさと嘉川の遺跡・史跡」を刊行し、地域の文化・風土を大切にする意識の向上に取り組んでいます。



▲小学生防災学習

今後の取組の方向性

- 地域住民が協働して地域活動に励むまちづくり
住民の希望や意見を集約し、小さなことでもできることは実行してみるという気構えで取組を進めます。
- 安心・安全に暮らせるまちづくり
住み慣れた地域で安心して暮らせるように、自然災害に対する備えや子どもたちの見守り活動などの取組を推進します。
- 人が集まる活気あるまちづくり
地域内の人材発掘、後継者の育成に努めるとともに、人が集まるイベントやサロンなどの活性化に取り組む、活力ある地域の形成を推進します。



▲ふるさと嘉川のお酒をつくろう

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 施策1-5 地域福祉の充実 | 施策3-1 防災対策の充実 |
| 施策2-2 生涯学習・社会教育の推進 | 施策3-3 交通安全の推進と防犯体制の充実 |
| 施策2-3 文化、芸術、歴史の継承と創造 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |



前期基本計画

4 地域づくりの方向性

16 佐山地域

面積 / 12.02km²



1

地域の特色

地域の特色や課題

佐山地域は、山口市の南西部に位置しており、東の一部は周防灘、西は宇部市、南は阿知須地域、北は嘉川地域に面する、東西に長く南北に短い形状をしています。地域の西に開発された産業団地「山口テクノパーク」は、豊かな自然に囲まれた環境のもとで、現在約40の企業が操業しており、今後も、多くの企業進出が既に決定しています。

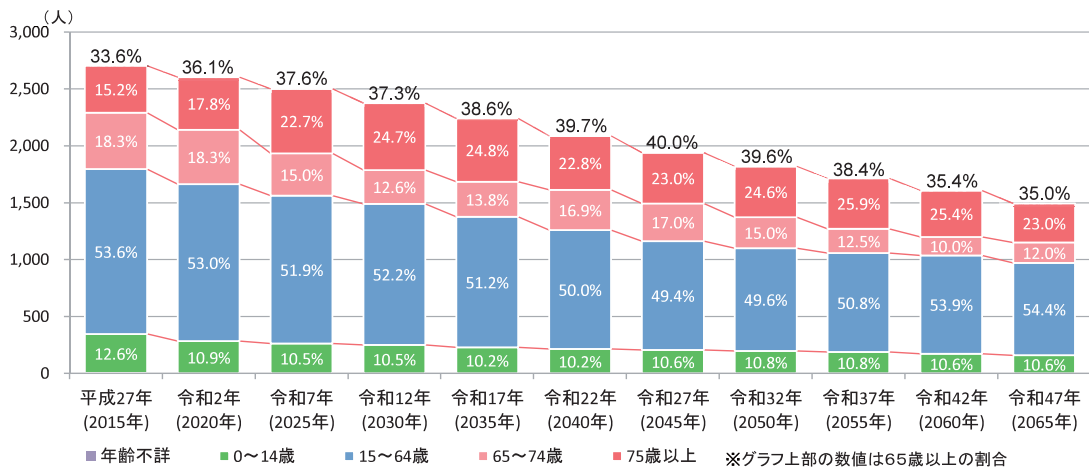


▲フラワーロード佐山

地域の特性としては、少子高齢化が進む状況の中、自主防災会を中心とした先進的な自主防災活動や、花壇づくりをはじめとするお年寄りから子どもまで、世代を超えたボランティア活動も盛んです。

地域の概要、データ

将来人口推計と人口構成



| | 2015年 (H27) | 2020年 (R2) | 2025年 (R7) | 2030年 (R12) | 2035年 (R17) | 2040年 (R22) | 2045年 (R27) | 2050年 (R32) | 2055年 (R37) | 2060年 (R42) | 2065年 (R47) |
|--------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 総人口 | 2,704 | 2,604 | 2,501 | 2,375 | 2,241 | 2,088 | 1,940 | 1,821 | 1,715 | 1,608 | 1,493 |
| 65歳以上 | 908 | 940 | 940 | 885 | 865 | 830 | 776 | 720 | 659 | 570 | 523 |
| 75歳以上 | 412 | 463 | 566 | 586 | 556 | 476 | 446 | 447 | 445 | 409 | 344 |
| 65~74歳 | 496 | 478 | 374 | 298 | 309 | 354 | 331 | 273 | 214 | 161 | 179 |
| 15~64歳 | 1,449 | 1,379 | 1,297 | 1,240 | 1,147 | 1,044 | 958 | 903 | 871 | 867 | 812 |
| 0~14歳 | 342 | 285 | 264 | 250 | 229 | 214 | 205 | 197 | 186 | 171 | 159 |
| 年齢不詳 | 5 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 佐山 | 市全体 |
|----------|-------|----------|
| 世帯数 | 997世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 12 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点

III

前期基本計画

4 地域づくりの方向性

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／佐山地区地域づくり協議会

目指す地域の姿

地域住民・各種団体等が相互に協力・連携することにより、コミュニティ意識が高揚し、地域課題の解決を図り、皆が安心して暮らしていける地域づくりを目指します。

これまでの主な取組

- 住民の隣保協同の精神を活動理念に、「自主防災会」を組織し、各单位自治会の地域性を視野に入れたコンパクトでより実践的な防災訓練や組織強化などを積極的に展開してきました。
- 生活環境づくりとして、佐山地域内の国道190号沿いの植樹帯を約100名のボランティアスタッフの献身的な活動により花壇として「フラワーロード佐山」を整備、維持管理をしています。世代間交流も行い、色とりどりの花が道行く人々の目を楽しませてくれています。



▲防災研修会

今後の取組の方向性

- 環境美化の意識付けや活動を通じたコミュニティの基盤強化
花壇整備活動や地域全体で取り組むゴミ拾い「ごみゼロ大作戦」を、大人から小中高生の全ての世代が参加することにより、環境美化意識を高め、世代間交流の場とします。
- 災害時助け合いネットワークの充実
「自主防災会」を中心とした災害対応総合訓練、防災研修会、防災体験学習、避難行動要支援者への対応、災害用資機材の備蓄管理を行い、自主防災活動意識を高め、災害に強い組織づくりを図ります。
- 地域のふれあいと文化の継承
中高生ボランティアサークル「きずな」の活躍をはじめ、地域住民全体の協力で、「ふるさとまつり」の開催や運動会を地域と小学校と共同で実施し、幅広い年齢層の交流を図り、地域の魅力を発信します。各種世代間・地域間の交流イベントを実施し、世代間の交流を活発にします。
また、地区史「さやま」の14年ぶりの発刊を契機に、佐山地区史研究会の充実を図ります。
- 地域の重要な交通手段のひとつ「コミュニティタクシー」について、さらなる充実を図ります。



▲周防大橋ふるさと太鼓

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 施策1-3 高齢者福祉の充実 | 施策3-6 自然環境の保全と衛生的な生活環境の維持 |
| 施策2-2 生涯学習・社会教育の推進 | 施策3-9 持続可能な公共交通の構築 |
| 施策3-1 防災対策の充実 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |

17 小郡地域

面積 / 33.39km²



1

地域の特色

地域の特色や課題

小郡地域は、江戸時代より山陽道と石州街道が交わる交通の要所であり、幕末期に藩庁が萩から山口へ移された後は、山口の玄関口として重要な場所となり、明治以降は鉄道の町として栄えました。



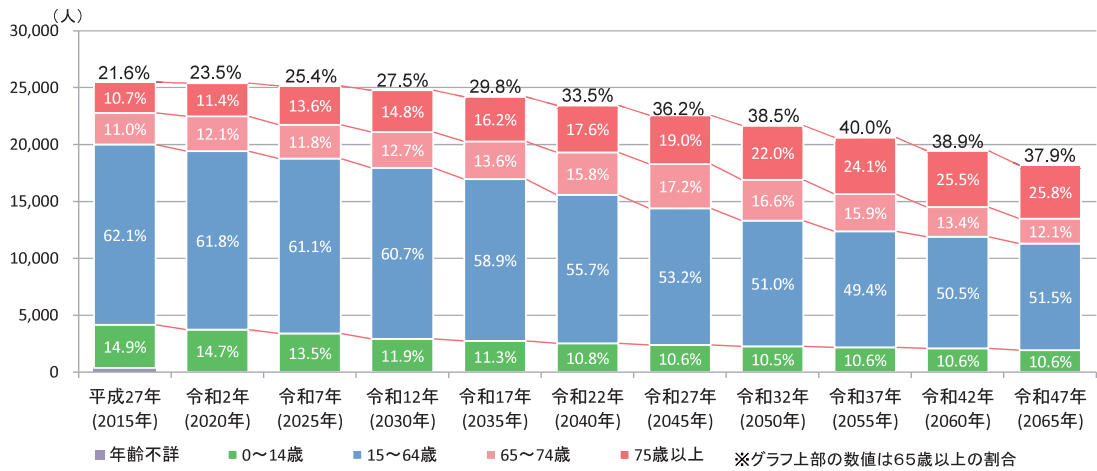
▲小郡眺望

また、新幹線の開通やSL「やまぐち」号の復活運行、新山口駅ターミナルパーク整備事業など、小郡都市核が整備され、「広域県央中核都市」としての機能を兼ね備えた整備が進む、人口の移動が著しい地域です。

しかし、この人口の移動に伴い、個人の価値観やライフスタイルの変化などによる地域コミュニティの希薄化のような課題がますます複雑化・多様化しています。加えて、今後、より深刻化すると予測される高齢化や空き家の増加等、新たな課題にも直面しています。

地域の概要、データ

将来人口推計と人口構成



| | 2015年 (H27) | 2020年 (R2) | 2025年 (R7) | 2030年 (R12) | 2035年 (R17) | 2040年 (R22) | 2045年 (R27) | 2050年 (R32) | 2055年 (R37) | 2060年 (R42) | 2065年 (R47) |
|------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 総人口 | 25,502 | 25,392 | 25,164 | 24,763 | 24,190 | 23,451 | 22,581 | 21,671 | 20,628 | 19,470 | 18,188 |
| 65歳以上 | 5,509 | 5,960 | 6,390 | 6,801 | 7,211 | 7,853 | 8,182 | 8,352 | 8,243 | 7,573 | 6,898 |
| 75歳以上 | 2,716 | 2,897 | 3,414 | 3,661 | 3,924 | 4,137 | 4,289 | 4,757 | 4,967 | 4,957 | 4,696 |
| 65~74歳 | 2,793 | 3,063 | 2,976 | 3,140 | 3,287 | 3,716 | 3,893 | 3,595 | 3,276 | 2,616 | 2,202 |
| 15~64歳 | 15,832 | 15,703 | 15,372 | 15,024 | 14,245 | 13,054 | 12,008 | 11,049 | 10,199 | 9,829 | 9,360 |
| 0~14歳 | 3,789 | 3,729 | 3,402 | 2,938 | 2,734 | 2,544 | 2,390 | 2,270 | 2,186 | 2,069 | 1,931 |
| 年齢不詳 | 372 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 小郡 | 市全体 |
|----------|----------|----------|
| 世帯数 | 11,213世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 65 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



前期基本計画

4

地域づくりの方向性

「ふれあい」「生きがい」「支えあい」で 心豊かに暮らせる地域づくり

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／おごおり地域づくり協議会

目指す地域の姿

『「ふれあい」「生きがい」「支えあい」で心豊かに暮らせるまち』を目標に、子育て世代から高齢者まで、全ての人が笑顔で心豊かに住み続けられる地域社会を目指し、各種団体等と連携して総合力を発揮できる地域を目指します。

これまでの主な取組

- 「地域振興」「地域福祉」「安心・安全」「環境づくり」「地域個性創出」をテーマに、各種団体等と連携を図り、地域住民同士の連帯感を醸成すると共に、将来の小郡地域を担う人材育成にも取り組みました。
- 誰もが健康で生き活きと安心・安全で暮らせるまちを目指し、自主防災組織の推進や環境保全活動など、住民ニーズに沿った事業に取り組みました。
- SL「やまぐち」号や新山口駅などを活用したおもてなし事業や、明治維新150年に向けた冊子の製作や史跡看板の設置、市天然記念物のオゴオリザクラの保護・育成など、歴史・文化・自然などの地域資源を生かした取組を行いました。



▲新山口ゆめフェスタ

今後の取組の方向性

- 超少子高齢化を迎えるに当たり、全ての世代の人が、小郡で生まれ、小郡で育ち、住み続けたいと感じることのできる支え合い・絆を育み、小郡地域のみならず、南部全域から市内全域までの地域間交流やネットワークを築き、魅力のある、住んでみたい小郡を目指します。
- 住民・自治会等各種団体や行政が地域づくりの方向性を共有し、連携を図りながら協力して取り組み、ともに小郡の発展を願う人々の一体感を醸し出すことの出来るまちづくりを目指します。
- 歴史や文化など、小郡の地域資源を生かしつつ、地域の魅力を再発見して愛着を抱き、未来の子ども達に誇れるよう、郷土愛あふれる自然や環境に配慮したまちづくりを進めます。



▲防災講演会

.....市の主な関連する施策.....

施策1-2 健康づくりの推進と地域医療の充実
 施策1-5 地域福祉の充実
 施策3-1 防災対策の充実

施策3-6 自然環境の保全と衛生的な生活環境の維持
 施策4-1 豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり
 施策5-1 地域活動と市民活動の推進

18 秋穂地域

面積 / 24.09km²



1

地域の特色

地域の特色や課題

秋穂地域は、山口市の南部に位置し、瀬戸内海に面し、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた地域です。この穏やかな自然は、秋穂のやさしさと豊かな心を育んできました。「法境の里」と呼ばれるこの地には、秋穂八十八ヶ所霊場が点在しており、毎年弘法大師の命日にあたる旧暦の3月20日、21日には市内外から多くの人々が「お大師まいり」に訪れています。



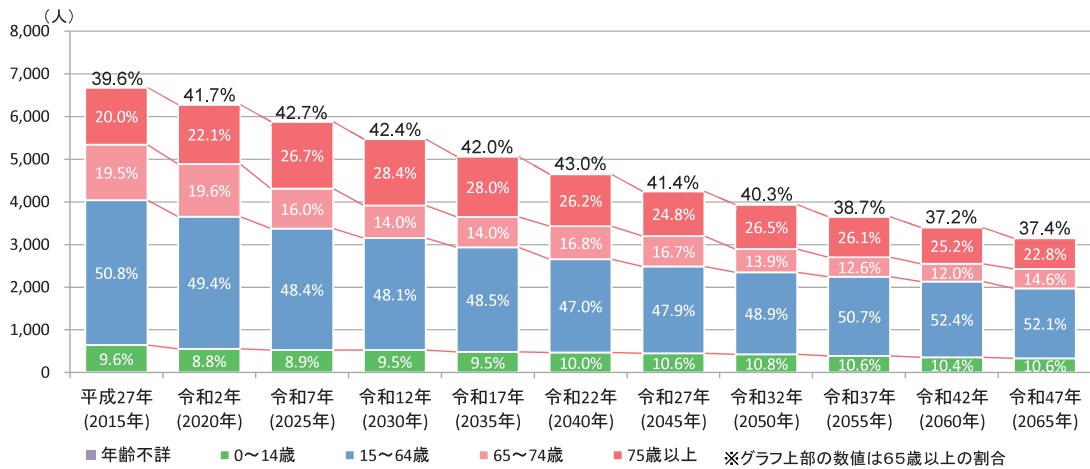
▲中道海岸

また、秋穂地域は、車えび養殖の発祥の地といわれ、車えびに関連した事業が盛んに行われています。

一方、人口減少に伴う少子、高齢化等により、これまで地域を支えてきた農業、漁業の後継者不足や担い手不足は深刻な問題となっています。空き家の増加や買い物、医療機関等へ行くための自家用車以外の交通アクセスも課題となっています。

地域の概要、データ

将来人口推計と人口構成



| | 2015年 (H27) | 2020年 (R2) | 2025年 (R7) | 2030年 (R12) | 2035年 (R17) | 2040年 (R22) | 2045年 (R27) | 2050年 (R32) | 2055年 (R37) | 2060年 (R42) | 2065年 (R47) |
|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 総人口 | 6,680 | 6,275 | 5,878 | 5,467 | 5,060 | 4,644 | 4,245 | 3,930 | 3,655 | 3,400 | 3,147 |
| 65歳以上 | 2,643 | 2,619 | 2,508 | 2,316 | 2,125 | 1,995 | 1,759 | 1,585 | 1,414 | 1,264 | 1,176 |
| 75歳以上 | 1,338 | 1,386 | 1,570 | 1,550 | 1,418 | 1,217 | 1,051 | 1,040 | 952 | 855 | 717 |
| 65~74歳 | 1,305 | 1,233 | 938 | 766 | 707 | 778 | 708 | 544 | 461 | 409 | 459 |
| 15~64歳 | 3,394 | 3,102 | 2,845 | 2,631 | 2,454 | 2,183 | 2,035 | 1,920 | 1,852 | 1,781 | 1,639 |
| 0~14歳 | 640 | 554 | 525 | 520 | 481 | 466 | 452 | 425 | 389 | 354 | 332 |
| 年齢不詳 | 3 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 秋穂 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 2,502世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 32 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



前期基本計画

4

地域づくりの方向性

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／たのSEA秋穂づくり協議会

目指す地域の姿

豊かな自然と秋穂の歴史と先人たちの志を受け継ぎ、「明るく」「たのSEAく」「健康」に暮らせる地域を目指します。

これまでの主な取組

- ふるさとを再発見し、地域のきずなづくりを進めるために、「あいお祭り」の開催や「あいお花火まつり」「地区まつり」の開催支援を行っています。また、秋穂の歴史・文化を守り育てるため、「歴史的資産・文化伝承事業」なども行っています。
- 秋穂地域の乳幼児から中学生までの子どもたちの健やかな成長を目指して、様々な活動に取り組む「すこやか秋穂っ子プロジェクト」や、安心・安全な地域づくりのための「防災組織活動支援」、美しく住みやすい地域づくりのための「環境美化活動」などにも取り組んでいます。



▲あいお祭り

今後の取組の方向性

- 地域の絆づくりをさらに進めるために、地域住民と各種団体とが連携を深め、地域振興に資する活動・催しなどを推進します。
- 高齢者や子ども、障がい者福祉など、地域福祉の向上と青少年健全育成や人権を守る活動を実施・支援します。
- みんなが、安心して安全に暮らせる社会の構築を目指して、各種事業に取り組めます。
- 身近な環境を守る活動、また、緑化推進や花いっぱい運動の支援・秋穂の海山の環境美化活動などを実施します。
- 秋穂の歴史・風土を守り育て、秋穂のイメージアップを図るとともに、地域資源の活用を推進して、あいおブランドの新たな事業の育成を支援します。



▲尻川海岸清掃活動

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 施策1-3 高齢者福祉の充実 | 施策4-1 豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり |
| 施策1-5 地域福祉の充実 | 施策4-4 水産業の振興 |
| 施策3-6 自然環境の保全と衛生的な生活環境 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |

Ⅲ

前期基本計画

4 地域づくりの方向性

19 阿知須地域

面積/25.49km²



1

地域の特色

地域の特色や課題

阿知須地域は、山口市の中心部から南に位置し、南と西は宇部市に接し、東は瀬戸内海に面し、沿岸部から内陸部にかけて緩やかな丘陵地となっています。そして、地域の中央部を流れる井関川沿いには四季の花々が咲き誇り、心なごむ自然と風景があります。



▲山口きらら博記念公園

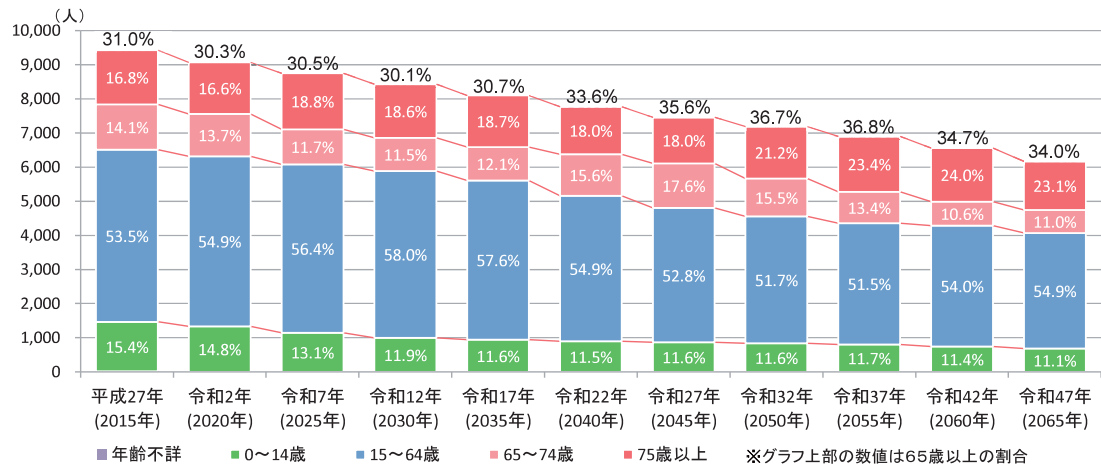
交通アクセスは、北に山口宇部道路が横断し、南に山口宇部空港を間近に控えています。

また、地域内のきらら浜に交流・参加を通じたスポーツの振興を図る場として、「山口きらら博記念公園」があり、2020年の東京オリンピックと2021年の福岡世界水泳大会のスペイン代表チームの事前キャンプ地となっており、近年では夏フェスも開催されています。

現在の人口は、微増ですが少子高齢化が進んでおり、将来の人口は減少する状況です。

地域の概要、データ

将来人口推計と人口構成



| | 2015年 (H27) | 2020年 (R2) | 2025年 (R7) | 2030年 (R12) | 2035年 (R17) | 2040年 (R22) | 2045年 (R27) | 2050年 (R32) | 2055年 (R37) | 2060年 (R42) | 2065年 (R47) |
|--------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 総人口 | 9,426 | 9,065 | 8,748 | 8,423 | 8,101 | 7,771 | 7,456 | 7,191 | 6,892 | 6,560 | 6,168 |
| 65歳以上 | 2,918 | 2,750 | 2,667 | 2,539 | 2,490 | 2,612 | 2,655 | 2,640 | 2,538 | 2,274 | 2,098 |
| 75歳以上 | 1,586 | 1,508 | 1,645 | 1,569 | 1,514 | 1,397 | 1,345 | 1,525 | 1,616 | 1,576 | 1,423 |
| 65~74歳 | 1,332 | 1,242 | 1,022 | 970 | 976 | 1,215 | 1,310 | 1,115 | 922 | 698 | 676 |
| 15~64歳 | 5,042 | 4,976 | 4,932 | 4,886 | 4,669 | 4,266 | 3,938 | 3,715 | 3,550 | 3,540 | 3,387 |
| 0~14歳 | 1,451 | 1,339 | 1,149 | 998 | 942 | 893 | 863 | 836 | 804 | 746 | 683 |
| 年齢不詳 | 15 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 阿知須 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 3,390世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 31 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



前期基本計画

4 地域づくりの方向性

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／阿知須地域づくり協議会

目指す地域の姿

地域振興、地域福祉、安心安全、環境づくりなど、地域の個性を創出する活動テーマとし、将来的にめざす姿として、「支えあう心 住みつづけたいまち あじす」を目指します。

これまでの主な取組

- 地域の財産をみんなが知り、地域への愛着で人を育て、人で地域を育てる環境づくりを進めるために、「阿知須浦まつり」、「あじすふれあいまつり」、「阿知須運動会」の開催支援を行っています。
- 阿知須地域の美しい景観を守るために、環境美化活動への支援を行っています。
- 安心・安全なまちづくりのために、防災組織活動への支援を行っています。
- 子どもたちが健やかな心を育むことを目指して、青少年健全育成活動への支援を行っています。



▲阿知須浦まつり

今後の取組の方向性

- 自治会活動の活性化への支援、地域づくり活動リーダー発掘・育成等に取り組み、人と人との連帯感と信頼の強化を図ります。
- 子どもから高齢者まで、だれもが助け合えるよう地域福祉等の諸活動に取り組みます。
- 地域防災力向上に向けた諸活動に取り組みます。
- 環境美化ボランティアの発掘、育成、支援等環境美化活動に取り組みます。
- 伝統文化の継承、観光資源の開発や整備、魅力発信等住みつづけたいまちを目指した諸活動に取り組みます。



▲きらら家彩農園

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 施策1-3 高齢者福祉の充実 | 施策3-6 自然環境の保全と衛生的な生活環境の維持 |
| 施策1-5 地域福祉の充実 | 施策4-1 豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり |
| 施策2-2 生涯学習・社会教育の推進 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |

20 徳地地域

面積 / 290.33km²



1

地域の特色

地域の特色や課題

徳地地域は、山口市の北東に位置し、面積の約9割を林野が占め、地域のほぼ中央を1級河川佐波川が流れる等、豊かな自然に恵まれた地域です。

また、東大寺再建のための大勸進職に任命された重源上人は、建築用材切り出しのため佐波川上流に分け入り、佐波川を開発して多量の巨木を奈良に送ったことでも有名です。他にも歴史の各時代にわたる豊富な文化財が残っています。

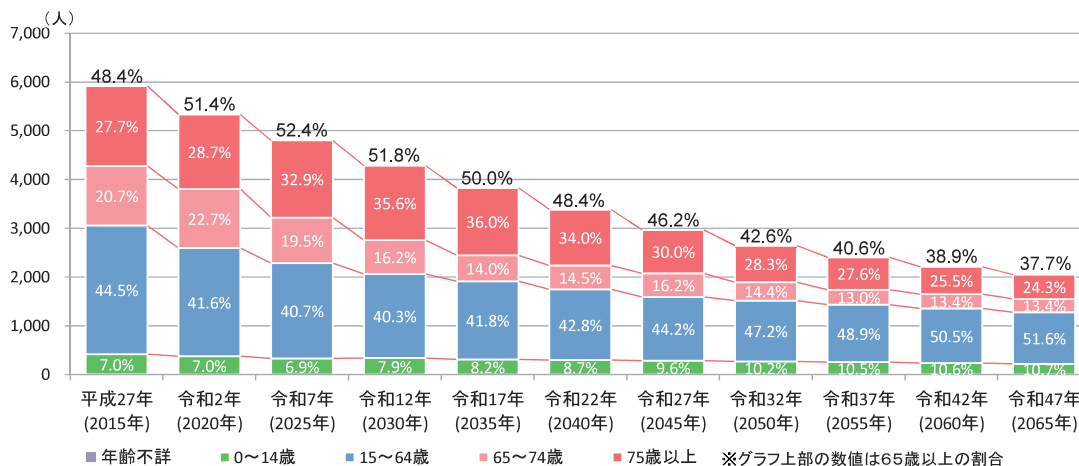


▲徳地人形浄瑠璃

一方、人口減少・少子高齢化により、耕作放棄地や空き家の増加、高齢者の買い物や通院のための交通機関などが課題となっています。

地域の概要、データ

■将来人口推計と人口構成



| | 2015年 (H27) | 2020年 (R2) | 2025年 (R7) | 2030年 (R12) | 2035年 (R17) | 2040年 (R22) | 2045年 (R27) | 2050年 (R32) | 2055年 (R37) | 2060年 (R42) | 2065年 (R47) |
|--------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 総人口 | 5,915 | 5,331 | 4,797 | 4,281 | 3,825 | 3,384 | 2,965 | 2,644 | 2,404 | 2,212 | 2,049 |
| 65歳以上 | 2,861 | 2,740 | 2,514 | 2,218 | 1,911 | 1,640 | 1,369 | 1,127 | 975 | 860 | 773 |
| 75歳以上 | 1,638 | 1,529 | 1,578 | 1,525 | 1,376 | 1,150 | 890 | 747 | 663 | 563 | 497 |
| 65~74歳 | 1,223 | 1,211 | 936 | 693 | 535 | 490 | 480 | 380 | 312 | 297 | 275 |
| 15~64歳 | 2,635 | 2,220 | 1,954 | 1,726 | 1,600 | 1,449 | 1,311 | 1,247 | 1,175 | 1,117 | 1,058 |
| 0~14歳 | 417 | 371 | 329 | 337 | 314 | 296 | 284 | 270 | 253 | 235 | 218 |
| 年齢不詳 | 2 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

■世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 徳地 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 2,483世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 125 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



前期基本計画

4 地域づくりの方向性

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／徳地地域づくり協議会

目指す地域の姿

「豊かなところ・明るいくらし・笑顔あふれるまち とくぢ」を地域目標として、諸問題の解決を図り、豊かで住み良い地域の形成を図ることを目指します。

これまでの主な取組

- コミュニティの基盤強化に向けた地域への愛着心及び地域の一体感醸成のために、「徳地フェスティバル」や各地区の夏祭りの開催支援を行っています。
- 高齢者への支援活動として、高齢者見守り事業や福祉ネットワークづくり事業、除雪サービス事業を実施しています。
- 徳地地域内への情報発信として地域広報誌「ふるさととくぢ」を発行しています。



▲徳地フェスティバル

今後の取組の方向性

- 安心安全に暮らせるまちづくり
 - 防災に対する住民の意識・備えが十分となるよう、防災意識の高揚に取り組みます。
 - 地域福祉が住民に根付き、誰もが安心して暮らせるよう、福祉の充実に取り組みます。
 - 生活環境が改善し、住みやすくなるよう、環境の整備に取り組みます。
- やすらぎとふれあいのあるまちづくり
 - グループや個人の活動がネットワークで結ばれ、情報が共有されるよう取り組みます。
 - 高齢者のための生きがい事業の実施等、健康づくり活動の推進に取り組みます。
 - 子どもたちがのびのびと学校生活を送れるよう、青少年の健全育成に取り組みます。
- みんなで支えあうまちづくり
 - 自治会が機能し、自治会・団体等の連携が密になるよう、自治会活動の活性化を図ります。
 - 住民の意見が取り入れられ、地域づくりに反映されるよう取り組みます。



▲大原湖さくらロードレース大会

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 施策1-3 高齢者福祉の充実 | 施策3-1 防災対策の充実 |
| 施策1-5 地域福祉の充実 | 施策4-1 豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり |
| 施策2-2 生涯学習・社会教育の推進 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |

III

前期基本計画

4 地域づくりの方向性

21 阿東地域

面積 / 293.06km²



1

地域の特色

地域の特色や課題

阿東地域は、山口市の最北部に位置し、徳佐八幡宮のしだれ桜、長門峡の紅葉、長門富士で知られる十種ヶ峰など、豊かな自然に恵まれた高原のまちです。

準高冷地の地域特性を生かし、良質米の生産、トマト等の夏秋野菜、りんご、なし等の果樹、畜産では「あとう和牛」などの農林業が盛んな農山村地域です。

今も人情にあふれ、人々のつながりの残る地域です。のどかな田園の風景を駆け抜けるSL「やまぐち号」も訪れる人の郷愁を誘います。

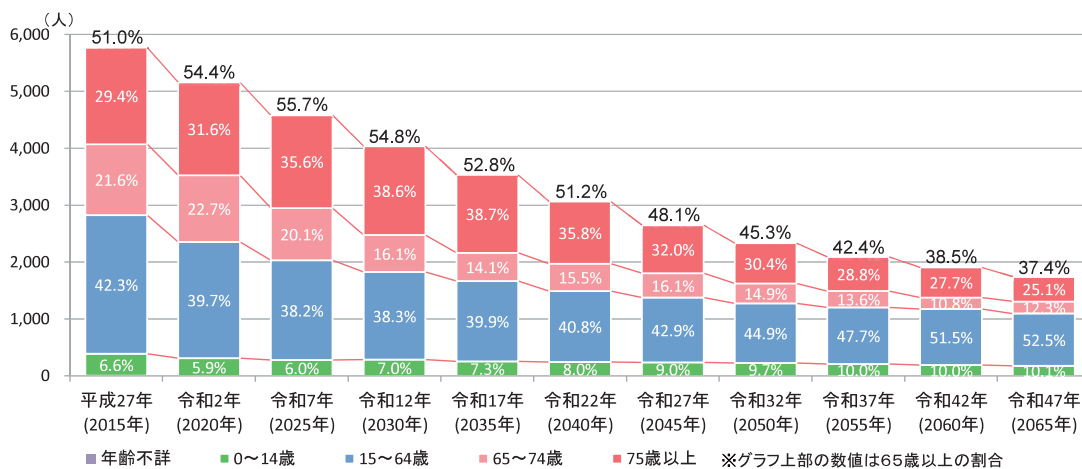
しかし、一方では、人口減少、少子高齢化が急速に進む中、生活支援サービスの維持・確保、地域コミュニティの活性化、農林業の担い手の確保、地域福祉の充実などが課題となっています。



▲十種ヶ峰

地域の概要、データ

■将来人口推計と人口構成



| | 2015年 (H27) | 2020年 (R2) | 2025年 (R7) | 2030年 (R12) | 2035年 (R17) | 2040年 (R22) | 2045年 (R27) | 2050年 (R32) | 2055年 (R37) | 2060年 (R42) | 2065年 (R47) |
|--------|----------------|---------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 総人口 | 5,772 | 5,160 | 4,585 | 4,033 | 3,530 | 3,064 | 2,650 | 2,330 | 2,092 | 1,908 | 1,745 |
| 65歳以上 | 2,946 | 2,805 | 2,556 | 2,208 | 1,865 | 1,570 | 1,276 | 1,057 | 887 | 735 | 652 |
| 75歳以上 | 1,697 | 1,633 | 1,634 | 1,558 | 1,368 | 1,096 | 849 | 709 | 603 | 529 | 438 |
| 65~74歳 | 1,249 | 1,172 | 922 | 650 | 497 | 475 | 427 | 348 | 284 | 206 | 215 |
| 15~64歳 | 2,439 | 2,049 | 1,753 | 1,543 | 1,409 | 1,249 | 1,136 | 1,047 | 997 | 983 | 916 |
| 0~14歳 | 382 | 307 | 276 | 282 | 256 | 245 | 238 | 226 | 208 | 190 | 177 |
| 年齢不詳 | 5 | | | | | | | | | | |

※平成27年国勢調査に基づき、独自推計

■世帯数、自治会・町内会数

| 項目 | 阿東 | 市全体 |
|----------|---------|----------|
| 世帯数 | 2,484世帯 | 84,994世帯 |
| 自治会・町内会数 | 123 | 769 |

※世帯数:平成27年国勢調査

※自治会・町内会数:平成29年4月1日時点



前期基本計画

4 地域づくりの方向性

考えてみよういね、やってみよういね、 美^{みりよく}緑あるあとうまちづくり

2

地域づくり活動の主な取組と今後の方向性

地域づくり協議会名称／阿東地域づくり協議会

目指す地域の姿

あらゆる世代が、いつまでも、安全で、安心して住み続けられる阿東地域を目指します。

これまでの主な取組

- 阿東地域を襲った豪雨災害等の教訓を生かすため、阿東自主防災会を設立し、自主防災組織の普及、啓発を進め、地域防災力の強化に取り組んでいます。
- 健康ウォークの開催、いきいき百歳体操の普及などを行い、地域住民の健康づくりに取り組んでいます。
- 地域文化や伝統芸能の保存・伝承、地域行事の支援を行うことで、地域の元気と魅力発信に取り組んでいます。



▲防災実動訓練

今後の取組の方向性

- 地域での見守り、支えあいを通じ、地域防災力の向上を図り、地域ぐるみの生活支援機能の維持、充実に取り組めます。
- 地域拠点整備や地域拠点を中心にした地域内交通網の整備を行い、人と人がふれあい、人々の温かさの中で暮らせる地域づくりを推進します。
- あらゆる世代が安心して暮らせるよう、地域が一体となった地域福祉の課題解決に取り組み、地域住民が、楽しみながら、生きがいの持てる健康づくりに取り組みます。
- 地域文化の振興と伝統芸能の保存・伝承を行い、地域行事等に参加することで、地域の誇りと愛着を持ち、子どもから高齢者までの一人ひとりが、互いに学びあえる地域をつくります。
- 豊かな自然を守り、産業振興を図りながら、先人から引き継がれた阿東の特長を生かし、伸ばすことで、過去から未来へとつながった魅力あふれる地域にしていきます。



▲土居神楽

.....市の主な関連する施策.....

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 施策1-2 健康づくりの推進と地域医療の充実 | 施策3-9 持続可能な公共交通の構築 |
| 施策1-3 高齢者福祉の充実 | 施策4-3 農林業の振興 |
| 施策2-2 生涯学習・社会教育の推進 | 施策5-1 地域活動と市民活動の推進 |

